2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	経絡経穴概論	担当教官名	伊達　正弥
対象学生	第1学年	履修学期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業のキーワード	経絡　経穴　経脈(督脈・任脈・手の太陰肺経～足の厥陰肝経)　骨度法　取穴		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 経絡経穴概論における経絡は、身体の内(五臓六腑)と外(外部環境)を結ぶルートであり、身体を維持する気血や、病の原因である邪気が移動する通路と考えられている。経穴は体内の様々な問題が表出する部位、反応の出やすい部位のことであり、鍼灸師として必要不可欠な科目となる。 【到達目標】 ①十四経脈の名称など経穴の基礎を覚えることができる。 ②十四経脈の経穴および奇穴の名称と部位を覚えることができる。 ③要穴をすべて覚えることができる。 【実務経験】 2024年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション 2. 経絡・経穴の基礎 3. 正経十二経脈・奇経八脈 4. 骨度法・同身寸法 5. 督脈 6. 任脈 7. 督脈・任脈　復習 8. 手の太陰肺経 9. 手の陽明大腸経 10. 手の太陰肺経・手の陽明大腸経　復習 11. 足の陽明胃経 12. 足の太陰脾経 13. 足の陽明胃経・足の太陰脾経　復習 14. 1学期まとめ 15. 1学期総合問題 16. 手の少陰心経 17. 手の厥陰心包経 18. 要穴　概要 19. 手の三陰経まとめ・要穴 20. 手の太陽小腸経 21. 手の少陽三焦経 22. 手の三陽経まとめ・要穴 23. 足の太陽膀胱経① 24. 足の太陽膀胱経② 25. 足の太陽膀胱経　復習 26. 足の少陰腎経 27. 足の三陰三陽経まとめ・要穴 28. 2学期まとめ 29. 1・2学期まとめ 30. 1・2学期総合問題 31. 足の少陽胆経① 32. 足の少陽胆経② 33. 足の厥陰肝経 34. 足の少陽胆経・足の厥陰肝経　復習 35. 足の三陰三陽経まとめ・要穴 36. 要穴まとめ① 37. 要穴まとめ② 38. 奇穴① 39. 奇穴② 40. 奇経八脈 41. 関連学説① 42. 関連学説② 43. 3学期まとめ 44. 1・2・3学期まとめ 45. 1・2・3学期総合問題		
準備学習	授業中に小テストを行います。予習復習をしっかり行いましょう。		
教科書・教材等	「新版 経絡経穴概論」(編集:東洋療法学校協会 発行:医道の日本社,第2版)		
授業の形式 教育機器の活用	講　義		
成績評価の方法	定期試験(1学期・2学期・3学期　各1回)100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	361穴の経穴など覚えることは多いですが、日々積み重ねることで、自然と経脈名や経穴名、取穴部位などが言えるようになります。しっかり記憶することにより、国家試験だけでなくその先の臨床にも繋がってきます。経穴名や経脈の流れ、取穴部位などを1年間かけて定着させましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	解剖学Ⅰ	担当教官名	西川千賀子
対象学生	第1学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	身体の構造(骨筋、神経、循環、呼吸、消化)		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 はり師・きゅう師資格取得を目指すには、解剖学の理解が必須である。 模型や標本を基に国試に基づいた人体の構造の基礎を中心に学ぶ。 細かい名称が出てくるが、臓器、骨、筋肉の働きや神経などの機能の基本について 興味を持つことができ、人のからだについて理解できるようになる。 【到達目標】 ①人体の構造器官や部位の解剖用語について説明できる。 ②消化器系の構造について学び説明できる。 ③泌尿器系の構造について学び説明できる。 ④運動器系の構造について学び説明できる。 【実務経験】 2006年4月～2008年 大阪市内の教員養成校附属鍼灸院 2007年8月～2017年8月 (医)岐黄会 西本クリニック附属治療院勤務 2017年11月～現在 豊中市内にて鍼灸院を開業 2018年4月～現在 大阪大学歯学部附属病院 麻酔科ペイン		
講義計画・内容	1.第1章:人体の構成について 2.第1章:人体の構成について 3.第4章:消化器(口腔、咽頭) 4.まとめ、課題 5.第4章:消化器(食道、胃) 6.第4章:消化器(小腸、大腸) 7.第4章:消化器(肝臓、胆嚢) 8.第4章:消化器(膵臓) 9.第3章:呼吸器(鼻腔) 10.第3章:呼吸器(喉頭、気管、気管支) 11.第3章:呼吸器(肺) 12.第5章:泌尿器(腎臓) 13.第5章:泌尿器(腎臓) 14.まとめ、課題 15.第5章:泌尿器(尿管、膀胱、尿道) 16.第10章:運動器系(骨:体幹) 17.第10章:運動器系(骨:体幹) 18.第10章:運動器系(骨:体幹) 19.第10章:運動器系(骨:体幹) 20.まとめ、課題 21.第10章:運動器系(骨:上肢) 22.第10章:運動器系(骨:上肢)	23.第10章:運動器系(骨:上肢) 24.第10章:運動器系(骨:上肢) 25.第10章:運動器系(骨:上肢) 26.第10章:運動器系(骨:下肢) 27.まとめ、課題 28.第10章:運動器系(骨:下肢) 29.第10章:運動器系(骨:下肢) 30.第10章:運動器系(骨:下肢) 31.第10章:運動器系(筋:体幹) 32.第10章:運動器系(筋:体幹) 33.第10章:運動器系(筋:体幹) 34.第10章:運動器系(筋:体幹) 35.第10章:運動器系(筋:上肢) 36.第10章:運動器系(筋:上肢) 37.まとめ、課題 38.第10章:運動器系(筋:上肢) 39.まとめ、課題 40.第10章:運動器系(筋:上肢) 41.第10章:運動器系(筋:下肢) 42.第10章:運動器系(筋:下肢) 43.まとめ、課題 44.第10章:運動器系(筋:下肢) 45.第10章:運動器系(筋:下肢)	
準備学習	毎回の授業前に予習をしておくこと。国家試験の問題に目を通すこと。 ・教科書の該当ページを3回読み、概略をつかむ。読む際には、教科書の見出しや太字部分(キーワード)についてどこにあるか見当がつけられるようになっていること。		
教科書・教材等	『解剖学【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版)		
授業の形式 教育機器の活用	パワーポイントを使って説明し、国家試験問題を解きながら理解を深める。 学習習得を確認をするために小テストを適宜行います。		
成績評価の方法	定期試験(1学期・2学期・3学期 各1回)100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	鍼灸をするためには人体構造の知識は不可欠です。 国家試験を重要視しながら、経穴の場所の理解を深めるための知識です。 覚える作業が多いですが、基本構造をしっかりと理解して実習につながるような 授業にしたいと考えていますので積極的に取り組んで下さい。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	生物学	担当教官名	門谷　輝美
対象学生	第1学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	生物学の基礎知識の習得		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 医療関連の職種において必要不可欠な生物学の基礎的な知識を得る。 【到達目標】 生物学の理解を通して、生命の不思議さ尊さを感じ、豊かな人間性を養い、多様な価値観に対し柔軟に対応できる能力を身に付けることができる。 【実務経験】 2005～　高等学校・予備校・専門学校等で生物学担当 2014～　京都医健専門学校で生物学担当		
講義計画・内容	1. 生理学の基礎① 2. 生理学の基礎② 3. 生理学の基礎③ 4. 生理学の基礎④ 5. 生理学の基礎⑤ 6. 生理学の基礎⑥ 7. 生理学の基礎⑦ 8. 代謝(栄養素)① 9. 代謝(栄養素)② 10. 消化と吸収① 11. 消化と吸収② 12. 消化と吸収③ 13. 消化と吸収④ 14. 消化と吸収⑤ 15. 1学期の復習 16. 消化と吸収⑥ 17. 消化と吸収⑦ 18. 消化と吸収⑧ 19. 消化と吸収⑨ 20. 消化と吸収⑩ 21. 代謝① 22. 代謝② 23. 代謝③	24. 呼吸① 25. 呼吸② 26. 呼吸③ 27. 呼吸④ 28. 呼吸⑤ 29. 呼吸⑥ 30. 2学期の復習 31. 血液① 32. 血液② 33. 血液③ 34. 血液④ 35. 循環① 36. 循環② 37. 循環③ 38. 循環④ 39. 循環⑤ 40. 循環⑥ 41. 循環⑦ 42. 循環⑧ 43. 循環⑨ 44. 循環⑩ 45. 3学期の復習	
準備学習	教科書や配布プリント等で予習しておいてください。		
教科書・教材等	『生理学【第3版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	小テスト100%(授業内小テストにて)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	まずは基礎的な知識をしっかりと身に付けます。 そのうえで、私たちの身体の中で起こる様々な現象の仕組みを理解し、筋道立てて考えることができるように論理的思考・科学的思考を育てていくことが目標です。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	はりきゅう実技Ⅰ	担当教官名	若杉和矢・伊達正弥・中釜知奈美
対象学生	第1学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	鍼、押手、刺手、挿管法、刺鍼(直刺・斜刺・横刺)、現行十七手技 艾、米粒大、半米粒大、有痕灸、無痕灸、衛生操作、経穴		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 刺鍼、施灸技術の基礎を習得する。 【到達目標】 ①正しい衛生操作で刺鍼、施灸ができる。 ②安全な刺鍼、施灸ができる。 ③直刺・斜刺・横刺の刺し分けができる。 ④米粒大・半米粒大の作り分けができる。 【実務経験】 若杉和矢 2013年～:京都医健専門学校 伊達正弥 2024年～:京都医健専門学校 中釜知奈美 2024年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション、鍼灸用具の説明 2. 施術準備、刺鍼・施灸の方法 3. 挿管法、板上施灸 4. 刺鍼、施灸練習① 5. 刺鍼、施灸練習② 6　消毒、自己施術(大腿部) 7. 消毒、自己施術(下腿部) 8. 自己施術(大腿部・下腿部)① 9. 自己施術(大腿部・下腿部)② 10.自己施術(大腿部・下腿部)③ 11.自己施術(大腿部・下腿部)④ 12.技術確認① 13.技術確認② 14.1学期復習① 15.1学期復習② 16.直刺①、八分灸・透熱灸① 17.直刺②、八分灸・透熱灸② 18.斜刺①、八分灸・透熱灸③ 19.斜刺②、八分灸・透熱灸④ 20.横刺①、八分灸・透熱灸⑤ 21.横刺②、八分灸・透熱灸⑥ 22..直刺・斜刺・横刺①、八分灸・透熱灸⑦ 23..直刺・斜刺・横刺②、八分灸・透熱灸⑧	24.技術確認① 25.技術確認② 26.技術確認③ 27.2学期復習① 28.2学期復習② 29.鍼術・灸術① 30.鍼術・灸術② 31.鍼術・灸術③ 32.鍼術・灸術④ 33.鍼術・灸術⑤ 34.鍼術・灸術⑥ 35.鍼術・灸術⑦ 36.鍼術・灸術⑧ 37.鍼術・灸術⑨ 38.鍼術・灸術⑩ 39.鍼術・灸術⑪ 40.鍼術・灸術⑫ 41.技術確認① 42.技術確認② 43.技術確認③ 44.1年総復習① 45.1年総復習②	
準備学習	各自研鑽を積んでください。		
教科書・教材等	『新版　経絡経穴概論』(日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会 編, 教科書執筆小委員会 著:医道の日本社)		
授業の形式 教育機器の活用	実技		
成績評価の方法	各学期、出席状況及び課題提出状況で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	施術の基礎技術を確実に身につけて、安心安全な鍼灸施術を行えるようになりましょう。		

2024度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	はりきゅう実技Ⅱ	担当教官名	若杉和矢・伊達正弥・中釜知奈美
対象学生	第1学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	鍼、押手、刺手、挿管法、刺鍼(直刺・斜刺・横刺)、現行十七手技 艾、米粒大、半米粒大、有痕灸、無痕灸、衛生操作、経穴		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 刺鍼、施灸技術の基礎を習得する。 【到達目標】 ①正しい衛生操作で刺鍼、施灸ができる。 ②安全な刺鍼、施灸ができる。 ③直刺・斜刺・横刺の刺し分けができる。 ④米粒大・半米粒大の作り分けができる。 【実務経験】 若杉和矢 2013年～:京都医健専門学校 伊達正弥 2024年～:京都医健専門学校 中釜知奈美 2024年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション、鍼灸用具の説明 2. 施術準備、刺鍼・施灸の方法 3. 挿管法、板上施灸 4. 刺鍼、施灸練習① 5. 刺鍼、施灸練習② 6　消毒、自己施術(大腿部) 7. 消毒、自己施術(下腿部) 8. 自己施術(大腿部・下腿部)① 9. 自己施術(大腿部・下腿部)② 10.自己施術(大腿部・下腿部)③ 11.自己施術(大腿部・下腿部)④ 12.技術確認① 13.技術確認② 14.1学期復習① 15.1学期復習② 16.直刺①、八分灸・透熱灸① 17.直刺②、八分灸・透熱灸② 18.斜刺①、八分灸・透熱灸③ 19.斜刺②、八分灸・透熱灸④ 20.横刺①、八分灸・透熱灸⑤ 21.横刺②、八分灸・透熱灸⑥ 22..直刺・斜刺・横刺①、八分灸・透熱灸⑦ 23..直刺・斜刺・横刺②、八分灸・透熱灸⑧	24.技術確認① 25.技術確認② 26.技術確認③ 27.2学期復習① 28.2学期復習② 29.鍼術・灸術① 30.鍼術・灸術② 31.鍼術・灸術③ 32.鍼術・灸術④ 33.鍼術・灸術⑤ 34.鍼術・灸術⑥ 35.鍼術・灸術⑦ 36.鍼術・灸術⑧ 37.鍼術・灸術⑨ 38.鍼術・灸術⑩ 39.鍼術・灸術⑪ 40.鍼術・灸術⑫ 41.技術確認① 42.技術確認② 43.技術確認③ 44.1年総復習① 45.1年総復習②	
準備学習	各自研鑽を積んでください。		
教科書・教材等	『新版　経絡経穴概論』(日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会 編, 教科書執筆小委員会 著:医道の日本社)		
授業の形式 教育機器の活用	実技		
成績評価の方法	各学期、出席状況及び課題提出状況で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	施術の基礎技術を確実に身につけて、安心安全な鍼灸施術を行えるようになりましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	東洋医学概論Ⅰ	担当教官名	宮本 直
対象学生	第1学年	履修学期	通 年
必修・選択の別	必 修	授業回数	45回
授業のキーワード	東洋医学・西洋医学の特徴、自然界と生体、陰陽・五行、気・血・津液(水)		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 東洋医学の考え方で人体を診るために必要となる基礎的な知識を学ぶ。まず、代表的な理論としての陰陽論、五行論を知った上で人体の仕組みと病気の成り立ちを学ぶ。2年生で行う診察法、弁証論治につなげる知識を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ①東洋医学の基礎的な理論を理解することができる。 ②東洋医学による身体の仕組みを理解することができる。 ③東洋医学による病気の考え方を理解することができる。 【実務経験】 2008年～2021年:大阪府吹田市の専門学校で専任教員 2021年～:京都府長岡京市で鍼灸院を経営		
講義計画・内容	1. はじめての東洋医学(導入) 2. 第3章 第1節 陰陽学説 3. 第3章 第2節 五行学説 4. 五行学説 5. 第2章 生理と病理 生理物質と神 6. 生理物質と神 7. 生理物質と神 8. 生理物質と神 9. 東洋医学の特徴 10. 東洋医学の特徴 11. 第2章 第2節 蔵象 12. 蔵象 13. 蔵象 14. 1学期のまとめ 15. 1学期のまとめ 16. 蔵象 17. 蔵象 18. 経絡 19. 第2章 第3節 経絡 20. 第2章 第4節 病因病機 21. 病因病機 22. 病因病機 23. 病因病機 24. 第4章 第1節 望診 25. 第2節 聞診 26. 第3節 問診 27. 第4節 切診 28. 第5節 四診合参 29. 2学期のまとめ 30. 2学期のまとめ 31. 第5章 第1節 弁証 32. 弁証 33. 弁証 34. 弁証 35. 弁証 36. 弁証 37. 弁証 38. 弁証 39. 第2節 論治 40. 論治 41. 論治 42. 論治 43. その他の関連問題 44. 3学期のまとめ 45. 3学期のまとめ		
準備学習	各授業ごとにその項目の国家試験の過去問を用いて、まず解いて出題傾向を知ることから始まります。解説を行ったのちに再度確認のために問題を解くという授業の進め方を行います。授業前後には必ず予習・復習を行なってください。また、3～4コマごとをめどに小テストを実施します。わからないことは必ず質問して解決しておくようにしましょう。		
教科書・教材等	『新版 東洋医学概論』(東洋療法学校協会編,教科書検討小委員会著:医道の日本社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験(1学期・2学期・3学期 各1回)100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	この科目は、2年生で学ぶ東洋医学臨床論の基礎となるだけではなく、臨床実習の各科目、ひいては臨床に出た際にも欠かせない知識となってきます。継続して学ぶためには、興味を持って楽しむことが重要です。そのために授業では工夫をしていきますので、一緒に楽しむ姿勢で授業を受けてください。また、希望や意見は遠慮なく伝えるようにしましょう。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画（シラバス）

学　　科	鍼灸科	授業科目区分（基専）	専門分野
授業科目名	医療概論	担当教官名	田中　良典
対象学生	第1学年	履修学期	1学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	15回
授業の キーワード	医学史、医療保険、医療倫理		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 世界の医学史、日本の医療制度と現状、医療倫理について学ぶ。 【到達目標】 ①世界の医学史が理解できる。 ②日本の医療制度や医療保険、日本の医療の現状が理解できる。 ③医療倫理について理解できる。 【実務経験】 2018年～2020年大阪市内鍼灸養成校付属鍼灸センター 2020年～2021年：東洋医学用カルテクラウド管理システム開発・運営に従事。 2022年～：大阪市内の鍼灸専門学校で非常勤講師。		
講義計画・内容	1. 古代～中世の医学史 2. ルネサンス～17世紀の医学史 3. 18世紀、19世紀の医学史 4. 西洋医学史まとめ 5. 東洋と日本の医学と医療の歴史 6. 現代医学の課題 7. 国民医療費 8. 医療保険のしくみ 9. 公的医療負担 10. 医療従事者の倫理 11. 医療の国際協力 12. まとめ① 13. まとめ② 14. 演習問題 15. 医療概論まとめ		
準備学習	難解な語句や名称は必ず調べること。		
教科書・教材等	『医療概論』（東洋療法学校協会編,中川米造監修：医歯薬出版株式会社）		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験（1学期・2学期・3学期　各1回）100%		
担当教官から （履修に当たっての留意点）	医療概論では医療制度、医療保険など、医療人として必要な知識を学んでいきます。また、医療倫理は医療人が患者に向き合う際に必要なものです。その内容を十分理解し、卒業後に生かせるようにしましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	生理学Ⅰ	担当教官名	田中 良典
対象学生	第1学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	細胞 消化 代謝 呼吸 排泄 神経 脳 脳神経 自律神経 筋		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 細胞や臓器の機能や働きを知り、人体の生理現象について理解する 【到達目標】 ①細胞・消化・呼吸・排泄について、臓器の働きを理解できる。 ②神経・脳幹・視床・視床下部について、その働きを理解できる。 ③大脳・脳神経・自律神経・筋について、その働きを理解できる。 【実務経験】 2018年～2020年大阪市内鍼灸養成校付属鍼灸センター 2020年～2021年:東洋医学用カルテクラウド管理システム開発・運営に従事。 2022年～:大阪市内の鍼灸専門学校で非常勤講師。		
講義計画・内容	1. 第1章 生理学の基礎① 細胞 2. 第1章 生理学の基礎② 体液 3. 第4章 消化と吸収①消化管の運動 4. 第1章 まとめ 5. 第4章 消化と吸収② 消化液 6. 第4章 消化と吸収③ 吸収 7. 第5章 代謝① エネルギー代謝 8. 第5章 代謝② 各栄養素の働き 9. 第3章 呼吸① 呼吸器 10. 第3章 呼吸② 換気とガス交換 11. 第3章 呼吸③ 呼吸運動 12. 第7章 排泄① 腎臓の働き 13. 第7章 排泄② 尿生成 14. 第7章 排泄③ まとめ 15. 1学期 まとめ 16. 第10章 神経① 神経系の分類 17. 第10章 神経② ニューロン 18. 第10章 神経③ 興奮伝導 19. 第10章 神経④ シナプス伝達 20. 第10章 神経⑤ まとめ① 21. 第10章 神経⑥ 神経伝達物質 22. 第10章 神経⑦ 反射 23. 第10章 神経⑧ 脊髄① 24. 第10章 神経⑨ 脊髄② 25. 第10章 神経⑩ 脳幹・小脳 26. 第10章 神経⑪ 視床 27. 第10章 神経⑫ まとめ② 28. 第10章 神経⑬ まとめ③ 29. 第10章 神経⑭ 視床下部 30. 2学期 まとめ 31. 第10章 神経⑮ 大脳① 32. 第10章 神経⑯ 大脳② 33. 第10章 神経⑰ 大脳③ 34. 第10章 神経⑱ 脳脊髄液 35. 第10章 神経⑲ 末梢神経系① 36. 第10章 神経⑳ 末梢神経系② 37. 第10章 神経㉑ 末梢神経系③ 38. 第10章 神経㉒ 大脳・脳神経まとめ 39. 第10章 神経㉓ 自律神経系① 40. 第10章 神経㉔ 自律神経系② 41. 第10章 神経㉕ 自律神経系③ 42. 第11章 筋① 骨格筋の構造・筋収縮 43. 第11章 筋② 筋収縮まとめ 44. 第11章 筋③ 筋のエネルギー供給 45. 3学期 まとめ		
準備学習	毎回の授業で学習した内容をしっかり復習しておくこと。		
教科書・教材等	『生理学【第3版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験(1学期・2学期・3学期 各1回)100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	生理学は医学の基本です。人間の各部がどのように機能するかを学んでいきます。生理学の知識が他の教科の理解にもつながりますので、しっかりと理解できるよう学んでいきましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	日本語基礎	担当教官名	森 祐香里
対象学生	第1学年	履修学期	2学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	15回
授業の キーワード	日本語運用能力　言語コミュニケーション　リテラシー		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 日本語の運用能力は、鍼灸師ひいては社会人として必要不可欠な能力である。本授業では、他者の考えを的確に読解する能力(読解力)ならびに自身の考えを適切に表現する能力(表現力)を中心に、社会人として必要な日本語の基礎的な能力を養成する。 【到達目標】 ①実用的な文章(メール・履歴書)を適切な表現で作成することができる。 ②文章を構造化して読解することができる。 ③自分の考えを論理立てて表現することができる。 【実務経験】 日本近現代文学研究を専門としている。また、2020年から高等学校にて国語科教諭として読解力・表現力養成の指導をしている。		
講義計画・内容	1. オリエンテーション＋自己紹介 2. ビジネス・コミュニケーション①—敬語 3. ビジネス・コミュニケーション②—履歴書 4. ビジネス・コミュニケーション③—メール 5. 特別課題① 6. 読解力①—接続語 7. 読解力②—意見と事実を区別する 8. 読解力③—主張と根拠を区別する 9. 表現力①—パラグラフ・ライティングを理解する 10. 表現力②—文章構成を考える 11. 表現力③—文章を推敲する 12. 特別課題② 13. 特別課題③ 14. 読解力・表現力①—質問する 15. 読解力・表現力②—反論する＋総括		
準備学習	講義終了後に語彙テストならびにプリント課題を必ず復習してください。特別課題として、それまでの講義で学んだ技能が定着しているか確認します。		
教科書・教材等	授業時に適宜配布します。		
授業の形式 教育機器の活用	毎時間、講義とプリント課題をセットで行います。講義による説明と併せ、技能定着のためのプリント課題に取り組んでもらいます。教育機器については、必要に応じ視聴覚機器を用います。 (なお、毎時間冒頭にて語彙テスト(漢検2級程度)を実施します。)		
成績評価の方法	提出物85%(特別課題60%＋授業内課題25%)＋語彙テスト15%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	本授業では、社会人として必要不可欠な日本語の基礎的な運用能力の修得を目指します。既に日常会話ができているのに、なぜ、〈日本語〉を改めて専門学校で学習しなくてはいけないのか——疑問に思っている人もいるでしょう。ここで皆さんに考えてほしいのは、自分が日常生活でどれだけ相手のことを意識してコミュニケーションできているか、です。社会人ともなれば、ただ漫然と言葉を使用するのではなく、他者を意識した分かりやすい・伝わる日本語をマスターしていることが求められます。本授業で修得するのは、相手の意図を的確に理解して聞く・読む技術、そして自身の考えを相手に分かりやすく伝わるように話す・書く技術です。本授業をきっかけに、自分自身の日本語を見つめ直し、より良いものにしていきましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	保健体育	担当教官名	森岡 美紀
対象学生	第1学年	履修学期	3学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15回
授業の キーワード	健康 病気 運動 環境 身体のしくみ 生活習慣 トレーニング		

授業の概要 及び到達目標	【概要】 中学・高校で既に学んでおられる保健体育を知識として深め、心身の事や世の中の事を広く知るためのきっかけにしてもらいたい。将来的に他人の身体を治療する場面を想定し、そのためにもまずは自分の身体をよく知ることは必要である。興味を持って知ることの手がかりにしてもらいたい。 【到達目標】 ①身体を健康に保つために必要なことが理解できる。 ②基本的な筋肉の働きを理解できる。 ③トレーニング方法やストレッチ方法などを学び、理解できる。 【実務経験】 同志社女子中学高等学校・体育非常勤講師として24年勤務・同じく同校にてアーチェリークラブ指導。その他、京都府アーチェリー連盟理事及び強化部副部長。くろたに幼稚園にて体育遊び指導12年。ライフスポーツキッズ親子体操インストラクター歴10年。
講義計画・内容	1. 健康についてⅠ 2. 健康についてⅡ 3. 体力・筋力トレーニングPart1 4. 食生活を考える 5. 喫煙・飲酒・薬物を考える 6. 生活習慣病とは 7. 欲求と適応機制・ストレス 8. 環境問題について 9. 運動・休養と健康 10. スポーツの始まりと変遷 11. ストレッチ・体幹トレーニング 12. 体力・筋力トレーニングPart2 13. 体力・筋力トレーニングPart3 14. オリンピック・パラリンピック・国際スポーツ 15. 実技指導体験
準備学習	授業に応じて各自で予習・復習。
教科書・教材等	適宜授業で配布。
授業の形式 教育機器の活用	講義
成績評価の方法	各種レポートで評価する。
担当教官から (履修に当たっての留意点)	健康や病気の事、また生活の中で必要な項目もあるので、社会に出るための知識として、学んでいただきたいです。

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	衛生学・公衆衛生学	担当教官名	中釜 知奈美
対象学生	第1学年	履修学期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業の キーワード	公衆衛生学の意義 保健 環境 感染症 消毒 母子保健 精神保健 疫学		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 公衆衛生学とは、良い生活環境の維持、健康の増進、疾病の予防のための個人及び社会全体の取り組みである。医療従事者として理解しておく必要がある。 【到達目標】 ①公衆衛生学の用語が理解できる。 ②公衆衛生学に関わる社会的制度について理解できる。 ③公衆衛生学に関わる環境要因や感染症について理解できる。 【実務経験】 2024年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション 2. 公衆衛生学の意義 3. 健康(1) 4. 健康(2) 5. ライフスタイルと健康(1) 6. ライフスタイルと健康(2) 7. ライフスタイルと健康(3) 8. 1学期前半復習 9. 感染症(1) 10. 感染症(2) 11. 感染症(3) 12. 感染症(4) 13. 感染症(5) 14. 1学期まとめ 15. 1学期総合問題 16. 消毒法(1) 17. 消毒法(2) 18. 消毒法(3) 19. 環境と健康(1) 20. 環境と健康(2) 21. 環境と健康(3) 22. 環境と健康(4) 23. 2学期前半復習	24. 母子保健(1) 25. 母子保健(2) 26. 母子保健(3) 27. 保健統計(1) 28. 保健統計(2) 29. 2学期まとめ 30. 2学期総合問題 31. 成人・高齢者保健(1) 32. 成人・高齢者保健(2) 33. 成人・高齢者保健(3) 34. 精神保健(1) 35. 精神保健(2) 36. 精神保健(3) 37. 3学期前半復習 38. 疫学(1) 39. 疫学(2) 40. 疫学(3) 41. 産業保健(1) 42. 産業保健(2) 43. 産業保健(3) 44. 3学期まとめ 45. 3学期総合問題	
準備学習	授業中に小テストを行うので、予習復習をしましょう。		
教科書・教材等	『衛生学・公衆衛生学【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験(1学期・2学期・3学期 各1回)100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	公衆衛生学は、健康の増進や疾病予防の取り組みについて学びます。その中で社会制度や行政サービスなど難しい用語が多く登場し、苦手に感じてしまうかもしれません。ですが、それらは意外と皆さんの日常生活に大きく関わっています。授業を通して身近なものとして考えられるように、理解を深めていきましょう。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画（シラバス）

学　　科	鍼灸科	授業科目区分（基専）	基礎分野
授業科目名	情報社会学	担当教官名	深津　富栄
対象学生	第1学年	履修学期	2学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	15回
授業の キーワード	Word、Excel、PowerPoint、アクセシビリティ、プレゼンテーション、タイピング、キャリアデザイン		
授業の概要 及び到達目標	【授業の概要】 コンピューターの基礎的な操作方法から応用までを学び、 ①Word・Excel・PowerPointの効率的で実践に役立つ操作方法を取得する。 ②レポート作成やプレゼンテーションの資料作成・発表のスキルを身に付ける。 【到達目標】 ①Wordを使用し、簡潔で説得力のある質の高い文書が作成できる。 ②Excelを使用し、効率の良いデータの処理分析、目的に応じた適切な資料作成ができる。 ③PowerPointを使用し、見やすく説得力のあるスライドを作成し、そのスライドを用いて、内容をわかりやすく発表することができる。 ④就職後のOA処理業務に役立てることができる。 【実務経験】 Microsoft オフィシャルトレーナー・IT系国家資格を取得し、ICT企業にてコンテンツ制作・システム管理・IT技術研修を担当。2000年より大学・滋慶学園で情報処理・MOS対策授業等の教鞭を取り、約1万人近くを合格に導いています。		
講義計画・内容	1. 課題 2. オリエンテーション　Windows基礎　Word①基本操作 3. Word②　小テスト① 4. Word③　Excel① 5. 課題 6. Excel② 7. Excel③　小テスト② 8. Excel④ 9. PowerPoint① 10. PowerPoint② 11. PowerPoint③　小テスト③ 12. 課題 13. PowerPoint④ 14. PowerPoint⑤ 15. PowerPoint⑥　プレゼンテーション研究発表会(PowerPoint課題)		
準備学習	パソコンの基本操作（入力、保存方法など）を確認しておいてください。		
教科書・教材等	よくわかる Word2021 & Excel2021 & PowerPoint2021　FOM出版 PowerPoint：レジュメ		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	課題提出（Word・Excel）・プレゼンテーションの作成と発表：90% 出席率：10%		
担当教官から （履修に当たっての留意点）	Word・Excel・PowerPointは職種・業種問わず、社会人の必須スキルです。適正かつ効率的に使いこなせるよう、スキルアップを目指していきます。またタイピングなども取り入れ、一般社会のOA処理業務でも効率的で質の良い資料作成が出来るように実習していきます。MOS受験を希望される方には、学習方法を説明します。スキルアップし効率よく操作が出来るよう積極的に取り組んでください。 ※1回目授業持ち物：テキスト　筆記用具		

2024年度京都医健専門学校授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	はりきゅう理論Ⅰ	担当教官名	久原由美子
対象学生	第1学年	履修学期	1学期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	鍼の基礎知識、刺鍼の方式と術式、特殊鍼法、灸の基礎知識、鍼灸の刺激量と感受性、リスク管理、感染対策		
授業の概要及び到達目標	【概要】 鍼と灸の基礎知識(道具の名称や方法)とリスク管理(鍼灸の過誤や副作用、手指や患部、道具の消毒方法)について学びます。 【到達目標】 ①鍼、灸についての基礎知識が理解できる。 ②刺鍼方法と手技が理解できる。 ③灸法の種類が理解できる。 ④鍼灸施術の際のリスク管理が理解できる。 ⑤感染症対策が理解できる。 【実務経験】 2003年～2004年:大阪医科大学麻酔科ペインクリニック 2005年:仏眼鍼灸理療専門学校 2006年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション 2. 鍼の基礎知識 3. 刺鍼の方式と術式 4. 刺鍼中の手技(17手技について) 5. 特殊鍼法 6. 灸の基礎知識 7. 灸の種類 8. 鍼灸の臨床応用(刺激量や患者の感受性) 9. リスク管理①(臓刺、出血など) 10. リスク管理②(抜鍼困難や脳貧血、灸の過誤など) 11. 感染症対策 12. 試験対策① 13. 試験対策② 14. 試験対策③ 15. はりきゅう理論Ⅰまとめ		
準備学習	教科書を事前に読んでおいて下さい。分からない名前が沢山出てくると思います。その名前を教科書やノートにチェックしておきましょう。		
教科書・教材等	『はりきゅう理論【第3版】』(東洋療法学校協会編,教科書検討小委員会著:医道の日本)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験(1学期・2学期・3学期　各1回)100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	鍼灸臨床現場で用いる道具、器具、術式、リスクへの対処などの基礎知識は、鍼灸国家試験で頻繁に出題される範囲です。鍼灸国家試験過去問題などを使って問題演習をし、より理解を確実なものにしていきましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分 (基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習認定講座	担当教官名	葛西 紘士
対象学生	第1学年	履修学期	3学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	15コマ
授業の キーワード	患者対応、インフォームドコンセント、医療面接、予診票、ホスピタリティ		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 臨床実習に必要な技術の習得を目指す。 【到達目標】 ①ホスピタリティ精神をもって、患者対応を正しく行うことができる。 ②インフォームドコンセントが理解できる。 ③医療面接を正しく行うことができる。 ④医療面接メモを取ることができる。 【実務経験】 2007年～2013年:京都医健専門学校 2013年～2020年:名古屋医健スポーツ専門学校 2020年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1.アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ実習① 2.アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ実習② 3.アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ実習③ 4.アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ実習④ 5.アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ実習⑤ 6.アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ実習⑥ 7.診療、医療面接の基本① 8.診療、医療面接の基本② 9..診療の基本① 10.診療の基本② 11..症例作成 12.医療面接① 13..医療面接② 14.医療面接と症例作成 15.総復習		
準備学習	事前に復習内容を伝えるので、指定があった教科書のページを読んでくること。		
教科書・教材等	ずっと使える!鍼灸臨床 BOOK 医療教育部会 鍼灸分科会 教材研究委員会 監修:滋慶出版 ホスピタリティ・コーディネータ教本		
授業の形式 教育機器の活用	講義、グループワーク、グループ発表		
成績評価の方法	出席(50%)、課題提出(20%)、グループ発表・症例内容・医療面接メモ提出状況等(30%)を総合して評価する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	臨床実習認定講座は2年からの臨床実習につなげるための授業になります。この授業を通して、正しい患者対応、医療面接の方法を学んでください。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	東洋医学臨床論	担当教官名	澤木　秀之
対象学生	第2学年	履修学期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業の キーワード	診察の結果から診断方法や治療法を組み立て、適切な治療を行う方法を学習する。		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 「東洋医学臨床論」は患者の診察の結果を元に、治療の適不適を判断し適切な鍼灸治療を行うために必須の学問である。 【到達目標】 臨床上遭遇しやすい症候・疾病に対しての鍼灸治療の実際を学習し、正しい判断、診断方法、そして治療法を行う臨床家になることができる。 【実務経験】 2010年～2013年：鍼灸接骨院、カイロプラクティック院 2014年～2015年：訪問鍼灸マッサージ院にて出張施術業務、機能訓練業務 2016年～2019年：名古屋医健スポーツ専門学校(柔道整復科専任教員) 2020年～：鍼灸マッサージ接骨院を開業		
講義計画・内容	1.治療総論 2.肩こり・頚肩腕痛 3.肩関節痛 4.上肢痛 5.橈骨神経 6.正中神経 7.尺骨神経 8.上肢の筋 9.下肢の筋 10.腰下肢痛 11.運動麻痺 12.テスト法 13.スポーツ障害 14.1学期まとめ① 15.1学期まとめ② 16.1学期の復習 17.膝痛① 18.膝痛② 19.頭痛・顔面神経麻痺① 20.頭痛・顔面神経麻痺② 21.歯痛・眼精疲労・鼻閉① 22.歯痛・眼精疲労・鼻閉② 23.脱毛症・めまい・耳鳴り①	24.脱毛症・めまい・耳鳴り② 25.咳嗽・喘息・胸痛① 26.咳嗽・喘息・胸痛② 27.腹痛・悪心・嘔吐・便秘・下痢① 28.腹痛・悪心・嘔吐・便秘・下痢② 29.2学期まとめ① 30.2学期まとめ② 31.2学期の復習 32.月経異常・排尿困難・ED① 33.月経異常・排尿困難・ED② 34.高血圧・低血圧① 35.高血圧・低血圧② 36.食欲不振・肥満① 37.食欲不振・肥満② 38.発熱・のぼせ・冷え① 39.発熱・のぼせ・冷え② 40.不眠・疲労と倦怠① 41.不眠・疲労と倦怠② 42.発疹・小児・高齢者疾患① 43.発疹・小児・高齢者疾患② 44.3学期まとめ① 45.3学期まとめ②	
準備学習	運動器系の疾患から内科的疾患など多岐にわたるため、解剖学、生理学、臨床医学総論、各論などの幅広い知識の復習、予習を行うこと。毎回の授業の復習に取り組むこと。		
教科書・教材等	『新版　東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉』(東洋療法学校協会編，教科書検討小委員会著：南江堂)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	この東洋医学臨床論は科目単独の知識では問題を解くことができません。西洋医学的、東洋医学的両方からみた解決法を見つけ出すことができるよう、解剖学、生理学、東洋医学概論、臨床経穴概論などの基礎知識はもちろん、臨床医学論、リハビリなどの応用知識も味方につけることが重要です。一つ一つ、一緒に頑張っていきましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	病理学	担当教官名	西川 千賀子
対象学生	第2学年	履修学期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業のキーワード	先天性、遺伝、器質性、機能的		
授業の概要及び到達目標	【概要】 疾病の理解を深め病的な状態が起こるのか、解剖・生理学などの知識を基礎として、疾病の発症するメカニズムを説明し、診断、経過、転帰、治療について学ぶ。 【到達目標】 ①病理学・疾病に関わる専門用語を理解し説明できる。 ②各単元で、疾病の成り立ちの基本の組合せを理解できる。 ③個々の疾病を理解し基本的な知識を習得する。 ④疾病の起因、身体にどのような異常を引き起こすのかを理解し、説明できる。 【実務経験】 2007年8月～2017年8月:(医)岐黄会 西本クリニック附属治療院 2017年11月～:豊中市内にて鍼灸院を開業 2018年4月～:大阪大学歯学部附属病院 麻酔科ペイン はりきゅう研修生		
講義計画・内容	1. 第1章、第2章 先天性・後天性疾患、遺伝性・非遺伝性疾患 2. 全身性・限局性疾患、器質的・機能的疾患、その他 3. 第3章 内因に関して 4. 内因に関して、外因に関連して 5. 外因に関連して 6. 外因に関連して 7. 第5章 萎縮(数的現象、細胞縮小) 8. 変性(変性の概念と分類) 9. 変性(加齢と老化と生活習慣病) 10. 変性(壊死と死) 11. 第6章 肥大と増殖、再生 12. 化生・移植 13. 創傷治癒と組織内異物の処理 14. 試験前復習① 15. 試験前復習② 16. 第4章 ヒトの循環系についての解剖学的知識 17. 充血・うっ血、虚血・貧血 18. 出血 19. 血栓症と塞栓症と梗塞について 20. 水腫・浮腫・脱水症について 21. 第7章 炎症の一般 22. 炎症の分類(変質性炎、滲出性炎) 23. 炎症の分類(増殖性炎、特異性炎) 24. 第9章 免疫細胞 25. 免疫のしくみ 26. アレルギーの分類 27. 免疫不全 28. 自己免疫異常 29. 試験前復習① 30. 試験前復習② 31. 腫瘍の一般・腫瘍の形態と構造、腫瘍細胞の特色 32. 腫瘍の組織学 33. 腫瘍の分類 34. 腫瘍発生の諸段階 35. 腫瘍の生体に及ぼす影響 36. 腫瘍の発生原因 37. 良性腫第 38. 腫瘍まとめ① 39. 腫瘍まとめ② 40. 10章 先天異常 総論、代謝異常、奇形 41. 奇形 42. 遺伝性疾患、 43. 染色体異常痛と悪性腫瘍 44. 試験前復習① 45. 試験前復習②		
準備学習	復習に時間をかけ、分からないことはそのままにせず質問してください。		
教科書・教材等	『病理学概論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	国家試験に対応するための知識だけでなく、臨床に役立つ知識も紹介しますので、積極的に取り組んで下さい。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	基礎専門分野
授業科目名	臨床医学総論	担当教官名	田中　良典
対象学生	第2学年	履修学期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業の キーワード	反射　徒手検査法　診察法		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 人体に生じる様々な症状と診察法を学び、患者の状態を理解し適切な判断を行う為の知識を養う。 【到達目標】 ①患者の症状について理解できる。 ②診察法・徒手検査法・反射について理解できる。 【実務経験】 2018年～2020年大阪市内鍼灸養成校付属鍼灸センター 2020年～2021年:東洋医学用カルテクラウド管理システム開発・運営に従事。 2022年～:大阪市内の鍼灸専門学校で非常勤講師。		
講義計画・内容	1　第1章　診察の概要 2　第2章　診察の方法 3　第3章　生命徴候の診察① 4　第3章　生命徴候の診察② 5　第1・2・3章　まとめ 6　第4章　全身の診察① 7　第4章　全身の診察② 8　第4章　全身の診察③ 9　第4章　まとめ 10　第5章　局所の診察① 11　第5章　局所の診察② 12　第5章　局所の診察③ 13　第5章　局所の診察④ 14　第5章　まとめ 15　1学期　まとめ 16　第6章　神経系の診察① 17　第6章　神経系の診察② 18　第6章　神経系の診察③ 19　第6章　まとめ 20　第7章　運動機能検査① 21　第7章　運動機能検査② 22　第7章　運動機能検査③ 23　第7章　運動機能検査④ 24　第7章　まとめ 25　第8章　その他の診察法 26　第9章　臨床検査法① 27　第9章　臨床検査法② 28　第9章　臨床検査法③ 29　第8・9章　まとめ 30　2学期　まとめ 31　第10章　おもな症状の診察法① 32　第10章　おもな症状の診察法② 33　第10章　おもな症状の診察法③ 34　第10章　おもな症状の診察法④ 35　第10章　おもな症状の診察法⑤ 36　第10章　まとめ① 37　第10章　おもな症状の診察法⑥ 38　第10章　おもな症状の診察法⑦ 39　第10章　おもな症状の診察法⑧ 40　第10章　おもな症状の診察法⑨ 41　第10章　おもな症状の診察法⑩ 42　第10章　まとめ② 43　第11章　治療学 44　第12章　臨床心理 45　3学期　まとめ		
準備学習	毎回の授業で学習した内容をしっかり復習しておくこと。		
教科書・教材等	『臨床医学総論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	臨床医学総論では、症状や検査法、診察法からどのような疾患が考えられるのかを知る学問です。実際に臨床の現場で患者への医療面接から得られる情報から疾患を推測するのに大事です。 1年生で学んだ解剖学や生理学の知識も必要となりますので、復習しておいてください。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	臨床医学各論Ⅰ	担当教官名	山口　修平
対象学生	第2学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業のキーワード	感染症、消化管疾患、肝・胆・膵疾患、呼吸器疾患、腎・尿器疾患、整形外科疾患、循環器疾患、血液・造血器疾患		
授業の概要及び到達目標	【概要】 疾病を知ることで、患者の状況を把握し、処置や鍼灸施術の可否を把握することを目標とする。 【到達目標】 各疾病の概要、疫学、成因と病態生理について習得し、基礎医学から臨床医学を考え、疾患や症状の理解をすることができる。患者に対し、疾患の特徴を説明することができる。 【実務経験】 2015年～2016年:株式会社玄武堂 2016年～:京都医健専門学校にて非常勤講師 2017年～2021年:康祐堂あけぼの鍼灸院 2021年～2024年:宝塚医療大学にて非常勤講師 2021年～2023年:理化学研究所にて研究 2023年～:森ノ宮医療大学にて非常勤講師		
講義計画・内容	1. 感染症① 2. 感染症② 3. 感染症③ 4. 感染症④ 5. 整形外科疾患① 6. 整形外科疾患② 7. 整形外科疾患③ 8. 整形外科疾患④ 9. 整形外科疾患⑤ 10. 整形外科疾患⑥ 11. 整形外科疾患⑦ 12. 整形外科疾患⑧ 13. 消化器疾患① 14. 消化器疾患② 15. 消化器疾患③ 16. 消化器疾患④ 17. 肝胆膵疾患① 18. 肝胆膵疾患② 19. 肝胆膵疾患③ 20. 肝胆膵疾患④ 21. 肝胆膵疾患⑤ 22. 呼吸器疾患① 23. 呼吸器疾患②	24. 呼吸器疾患③ 25. 泌尿器疾患① 26. 泌尿器疾患② 27. 泌尿器疾患③ 28. 泌尿器疾患④ 29. 内分泌疾患① 30. 内分泌疾患② 31. 内分泌疾患③ 32. 代謝・栄養疾患① 33. 代謝・栄養疾患② 34. 循環器疾患① 35. 循環器疾患② 36. 循環器疾患③ 37. 循環器疾患④ 38. 循環器疾患⑤ 39. 血液・造血器疾患① 40. 血液・造血器疾患② 41. 血液・造血器疾患③ 42. 血液・造血器疾患④ 43. 復習 44. 復習 45. 復習		
準備学習	解剖学および生理学で学んだ人体構成、公衆衛生、臨床医学総論の検査法を予習・復習しておくこと。		
教科書・教材等	『臨床医学各論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	病気の原因や疫学について学ぶことは鍼灸師として問診や治療を行う上で非常に重要です。また人体の正常な構造を学ぶのが解剖学であり、機能が生理学です。正常から逸脱した状態が病理学(病気)となります。そのため病気を学ぶ上で解剖・生理学を理解することは重要となります。授業では都度、解剖生理学の復習を行います。頑張って勉強しましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	解剖学Ⅱ	担当教官名	山口 修平
対象学生	第2学年	履修学期	2・3学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	30回
授業の キーワード	人体の正常構造		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 本講義では人体の正常な構造を学ぶ。 【到達目標】 ①人体の正常な構造について理解し説明できる。 ②本講義の範囲における鍼灸国家試験過去問題の解説ができる。 【実務経験】 2015年～2016年:株式会社玄武堂 2016年～:京都医健専門学校にて非常勤講師 2017年～2021年:康祐堂あけぼの鍼灸院 2021年～2024年:宝塚医療大学にて非常勤講師 2021年～2023年:理化学研究所にて研究 2023年～:森ノ宮医療大学にて非常勤講師		
講義計画・内容	1. 人体の構成 2. 呼吸器系① 3. 呼吸器系② 4. 呼吸器系③ 5. 消化器系① 6. 消化器系② 7. 消化器系③ 8. 消化器系④ 9. 消化器系⑤ 10. 消化器系⑥ 11. 消化器系⑦ 12. 消化器系⑧ 13. 消化器系⑨ 14. 試験対策 15. 試験対策	16. 泌尿器系① 17. 泌尿器系② 18. 泌尿器系③ 19. 泌尿器系④ 20. 循環器系① 21. 循環器系② 22. 循環器系③ 23. 循環器系④ 24. 循環器系⑤ 25. 循環器系⑥ 26. 循環器系⑦ 27. 循環器系⑧ 28. 循環器系⑨ 29. 試験対策 30. 試験対策	
準備学習	授業前にあらかじめ教科書の該当分野を精読し、講義後は復習をすること。		
教科書・教材等	『解剖学【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	人体の正常な構造を学ぶのが解剖学であり、機能が生理学です。また正常から逸脱した状態が病理学(病気)となります。そのため病気を学ぶ上で解剖学を理解することは重要となります。頑張って勉強しましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	運動学	担当教官名	山口 修平
対象学生	第2学年	履修学期	1学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15回
授業の キーワード	人体の骨、筋、関節の運動		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 本講義では骨、筋肉や関節により行われる運動を物理学的な観点より理解し学ぶ。 【到達目標】 ①体幹、上肢、下肢の骨、筋肉、関節について運動学の観点から理解し説明できる。 ②本講義の範囲における鍼灸国家試験過去問題の解説ができる。 【実務経験】 2015年～2016年：株式会社玄武堂 2016年～：京都医健専門学校にて非常勤講師 2017年～2021年：康祐堂あけぼの鍼灸院 2021年～2024年：宝塚医療大学にて非常勤講師 2021年～2023年：理化学研究所にて研究 2023年～：森ノ宮医療大学にて非常勤講師		
講義計画・内容	1. 運動器系(頭蓋骨)① 2. 運動器系(頭蓋骨)② 3. 運動器系(頭蓋骨)③ 4. 運動器系(頭蓋骨)④ 5. 運動器系(頭蓋骨)⑤ 6. 神経系① 7. 神経系② 8. 神経系③ 9. 神経系④ 10. 神経系⑤ 11. 神経系⑥ 12. 神経系⑦ 13. 神経系⑧ 14. 神経系⑨ 15. 試験対策		
準備学習	授業前にあらかじめ教科書の該当分野を精読し、講義後は復習をすること。		
教科書・教材等	『解剖学【第2版】』(東洋療法学校協会編：医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	内容は一年次に学んだ解剖学の骨筋の範囲になります。そのため復習に近い形になりますが、覚えることが多い骨筋は忘れていることも多いと思います。また、教科書に書いている筋の作用が何故その運動になるのかイメージ出来る様になってもらうのが目標です。頑張って勉強しましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	東洋医学概論Ⅱ	担 当 教 官 名	野間 美千子
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	1・2学期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業のキーワード	望聞問切(四診)、弁証論治、四診合参		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 1年次に学習してきた東洋医学の基礎知識をもとに、東洋医学の診察法「四診」と、四診で得られた情報をどう分析し、どう見立て、治療に落とし込むかという「弁証論治」について学ぶ。 【到達目標】 ①東洋医学概論の教科書の単語を正しく読み、覚えることができる。(教科書) ②東洋医学概論の教科書の単語とその意味を結びつけることができる。(暗記ドリル) ③覚えた意味を国家試験問題や弁証論治に活用することができる。(過去問題) 【実務経験】 野間美千子 2009年～2012年:京都市内の鍼灸整骨院 2014年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 学習の進め方・1年生振り返り 2. 四診と弁証論治 概論 3. 五臓六腑・五行色体表 4. 望診(望神・舌診) 5. 望診(望神・舌診) 6. 聞診・問診 7. 聞診・問診 8. 前半 復習 9. 切診(腹診・切経・脈診) 10. 切診(腹診・切経・脈診) 11. 切診(腹診・切経・脈診) 12. 切診(腹診・切経・脈診) 13. 四診合参 14. 後半 復習 15. 1学期総復習 16. 要穴(五兪穴の経穴名と部位) 復習 17. 要穴(五兪穴の経穴名と部位) 復習 18. 弁証の分類 19. 弁証の分類 (八綱・気血津液・臓腑・経絡・ 六淫・六経・衛気営血・三焦弁証) 20. 各弁証に対する治法 21. 治療の補瀉 22. 治療の補瀉 23. 古代刺法 24. 古代刺法 25. 要穴(五兪穴の経穴名と部位) 復習 26. 難経六十九難と五兪穴と脈診 27. 難経六十九難と五兪穴と脈診 28. 難経六十九難と五兪穴と脈診 29. 2学期 総復習 30. 2学期 総復習		
準備学習	『新版 東洋医学概論』 を読んで予習復習すること		
教科書・教材等	『新版 東洋医学概論』(東洋療法学校協会編, 教科書検討小委員会著:医道の日本社)		
授業の形式 教育機器の活用	講 義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	東洋医学では聞きなれない単語や読みなれない漢字が多く出てきますが、漢字が意味することのイメージを一度掴むことが出来れば、あとは漢字同士を結びつけるだけで確実に知識として積み重なり、イメージが広がります。過去問題はもちろん、授業内で出題するドリル等も活用し、1～2学期で東洋医学基礎力を身に付けていきましょう!		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	生理学Ⅱ	担当教官名	久原　由美子
対象学生	第2学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	人体の機能		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 本講義では人体の正常な内分泌、生殖、成長と老化、体温、排泄、筋、運動の機能に関して学ぶ。 【到達目標】 ①正常な内分泌、生殖、成長と老化、体温、排泄、筋、運動の機能を理解し説明できる。 ②本講義の範囲における鍼灸国家試験過去問題の解説ができる。 【実務経験】 2003年～2004年：大阪医科大学麻酔科ペインクリニック 2005年：仏眼鍼灸理療専門学校 2006年～：京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 第8章　内分泌① 2. 第8章　内分泌② 3. 第8章　内分泌③ 4. 第8章　内分泌④ 5. 第8章　内分泌⑤ 6. 第8章　内分泌⑥ 7. 第8章　内分泌⑦ 8. 第8章　内分泌⑧ 9. 第9章　生殖　成長と老化① 10. 第9章　生殖　成長と老化② 11. 第9章　生殖　成長と老化③ 12. 第9章　生殖　成長と老化④ 13. 第9章　生殖　成長と老化⑤ 14. 第9章　生殖　成長と老化⑥ 15. 第9章　生殖　成長と老化⑦ 16. 第6章　体温① 17. 第6章　体温② 18. 第6章　体温③ 19. 第7章　排泄① 20. 第7章　排泄② 21. 第7章　排泄③ 22. 第7章　排泄④ 23. 第7章　排泄⑤ 24. 第11章　筋① 25. 第11章　筋② 26. 第11章　筋③ 27. 第11章　筋④ 28. 第11章　筋⑤ 29. 第11章　筋⑥ 30. 第11章　筋⑦ 31. 第10章　神経(復習) 32. 第10章　神経(復習) 33. 第12章　運動① 34. 第12章　運動② 35. 第12章　運動③ 36. 第12章　運動④ 37. 第12章　運動⑤ 38. 第12章　運動⑥ 39. 第12章　運動⑦ 40. 第12章　運動⑧ 41. 第12章　運動⑨ 42. 第12章　運動⑩ 43. 第12章　運動 44. 第12章　運動 45. 第12章　運動		
準備学習	授業前にあらかじめ教科書の該当分野を精読し、講義後は復習をすること。		
教科書・教材等	『生理学【第3版】』(東洋療法学校協会編：医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	人体の正常な機能が生理学です。病気を学ぶ上で生理学を理解することが重要となります。国家試験を見据えた構成で授業を進めていきます。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	はりきゅう理論Ⅱ	担 当 教 官 名	久原　由美子
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	1・2学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	30回
授業の キーワード	人体の機能、鍼灸効果のメカニズム		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 鍼や灸がどのようなメカニズムで身体に影響を与えるかを学ぶ。またメカニズムを学ぶ上で必要な生理学についても学ぶ。 【到達目標】 ①鍼灸のメカニズムに関連する分野の生理学について理解し解説できる。 ②鍼灸の作用機序について生理学的観点より理解し説明できる。 ③本講義の範囲における鍼灸国家試験過去問題の解説ができる。 【実務経験】 2003年～2004年:大阪医科大学麻酔科ペインクリニック 2005年:仏眼鍼灸理療専門学校 2006年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 第8章　運動系の調節① 2. 第8章　運動系の調節② 3. 第8章　内臓系の調節① 4. 第8章　内臓系の調節② 5. 第8章　感覚① 6. 第8章　感覚② 7. 第8章　感覚③ 8. 第8章　感覚④ 9. 第8章　炎症① 10. 第8章　炎症② 11. 第8章　炎症③ 12. 第8章　炎症④ 13. 第8章　熱傷 14. 第8章　熱傷 15. 第8章　熱傷 16. 第8章　体表の反応 17. 第9章　鍼鎮痛① 18. 第9章　鍼鎮痛② 19. 第9章　鍼鎮痛③ 20. 第9章　鍼鎮痛④ 21. 第9章　鍼灸刺激の循環器系への影響 22. 第9章　鍼灸刺激の運動器系への影響 23. 第9章　鍼灸刺激の消化器系への影響 24. 第9章　鍼灸刺激の泌尿器系への影響 25. 第9章　鍼灸刺激の精神への影響 26. 第9章　鍼灸刺激の免疫系への影響 27. 第10章　鍼灸治効機序と臨床① 28. 第10章　鍼灸治効機序と臨床② 29. 第10章　鍼灸治効機序と臨床 30. 第10章　鍼灸治効機序と臨床		
準備学習	授業前にあらかじめ教科書の該当分野を精読し、講義後は復習をすること。		
教科書・教材等	『はりきゅう理論【第3版】』(東洋療法学校協会編, 教科書執筆委員会著:医道の日本社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	鍼や灸が身体に影響を与えるメカニズムを学ぶためには、生理学の知識が必要不可欠です。国家試験を見据えた構成で授業を進めていきます。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	はりきゅう実技Ⅲ	担当教官名	中島康敦・伊達正弥・中釜知奈美
対象学生	第2学年	履修学期	通　年
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	経穴、取穴、骨ランドマーク、筋触察、疾患、交互施灸、糸状灸、重ね八分灸		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 基礎技術を基盤に、はりきゅうの技術的・知識的な幅を広げることを目的とし、基礎から応用へ臨床で求められる知識や技術についての施術法を修得することを目標とする。また複数部位への刺鍼をスムーズに行えるように、臨床での刺鍼を技術の習得、施術の全体の流れを意識しながら行う。経絡経穴や筋の方向を意識し、理解を深め、施術法を学ぶ。 【到達目標】 授業を通して鍼灸臨床に必要な事項について理解を深め、診察・施術技術の実際を習得できる。 ①体幹部への直刺、斜刺、横刺を正確に刺鍼できるようになる。 ②体幹部への押手を正確にできるようになる。 ③低周波鍼通電療法が正確にできるようになる。 ④筋へ正確に刺鍼、施灸できるようになる。 【実務経験】 中島 康敦 2006～2008年:大阪府茨木市の鍼灸整骨院 2008～2013年:新潟県新潟市の専門学校 2013年～:京都医健専門学校 伊達正弥 2024年～:京都医健専門学校 中釜知奈美 2024年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1.オリエンテーション、1年次の習得技術の確認 2.送り込み刺法・透熱灸、八分灸① 3.送り込み刺法・透熱灸、八分灸② 4.送り込み刺法・透熱灸、八分灸③ 5.送り込み刺法・透熱灸、八分灸④ 6.送り込み刺法・透熱灸、八分灸⑤ 7.旋撚刺法・透熱灸、八分灸① 8.旋撚刺法・透熱灸、八分灸② 9.旋撚刺法・透熱灸、八分灸③ 10.送り込み刺法、旋撚刺法・透熱灸、八分灸 11.基本十七手技① 12.基本十七手技② 13.基本十七手技③ 14.基本十七手技④ 15.基本十七手技⑤ 16.1学期振り返り 17.頸部、肩甲上部への刺鍼・透熱灸、八分灸 18.上肢、肩関節前面への刺鍼・透熱灸、八分灸 19.肩甲部への刺鍼・透熱灸、八分灸 20.上肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 21.肩甲間部への刺鍼・透熱灸、八分灸 22.腰・背部への刺鍼・透熱灸、八分灸	23.膝関節部への刺鍼・透熱灸、八分灸 24.上肢・手関節への刺鍼・透熱灸、八分灸 25.肩甲部への刺鍼・透熱灸、八分灸 26.腰部への刺鍼・透熱灸、八分灸 27.腰下肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 28.頭部・下肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 29.頭部・腹部への刺鍼・透熱灸、八分灸 30.臀部、下肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 31.2学期振り返り 32.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸① 33.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸② 34.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸③ 35.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸④ 36.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑤ 37.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑥ 38.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑦ 39.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑧ 40.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑨ 41.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑩ 42.低周波鍼通電療法(神経パルス系)・透熱灸、八分灸① 43.低周波鍼通電療法(神経パルス系)・透熱灸、八分灸② 44.低周波鍼通電療法(神経パルス系)・透熱灸、八分灸③ 45.低周波鍼通電療法(鎮痛パルス系)	
準備学習	経穴部位、解剖学(特に筋肉の分布)をマスターしておくこと。 5分間施灸の練習		
教科書・教材等	『ずっと使える!鍼灸臨床 BOOK』(医療教育部会 鍼灸分科会 教材研究委員会:滋慶出版)		
授業の形式 教育機器の活用	実技 鍼灸用具・低周波治療器・皮内鍼、人体解剖模型		
成績評価の方法	出席および各種提出物状況で評価。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	基礎から応用への技術習得になります。基本技術の総復習も行います。。そのためにも自身の技術レベルを認識し、施術を日々繰り返し技術向上に努めましょう。また被験者に対し、患者同様の施術・言葉遣いや気づかいができるようにも努めましょう。進行状況などにより、授業の順序・内容が変更される場合があります。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	はりきゅう実技Ⅳ	担当教官名	中島康敦・伊達正弥・中釜知奈美
対象学生	第2学年	履修学期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業の キーワード	経穴、取穴、骨ランドマーク、筋触察、疾患、交互施灸、糸状灸、重ね八分灸		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 基礎技術を基盤に、はりきゅうの技術的・知識的な幅を広げることを目的とし、基礎から応用へ臨床で求められる知識や技術についての施術法を修得することを目標とする。また複数部位への刺鍼をスムーズに行えるように、臨床での刺鍼を技術の習得、施術の全体の流れを意識しながら行う。経絡経穴や筋の方向を意識し、理解を深め、施術法を学ぶ。 【到達目標】 授業を通して鍼灸臨床に必要な事項について理解を深め、診察・施術技術の実際を習得できる。 ①体幹部への直刺、斜刺、横刺を正確に刺鍼できるようになる。 ②体幹部への押手を正確にできるようになる。 ③低周波鍼通電療法が正確にできるようになる。 ④筋へ正確に刺鍼、施灸できるようになる。 【実務経験】 中島 康敦 2006～2008年:大阪府茨木市の鍼灸整骨院 2008～2013年:新潟県新潟市の専門学校 2013年～:京都医健専門学校 伊達正弥 2024年～:京都医健専門学校 中釜知奈美 2024年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1.オリエンテーション、1年次の習得技術の確認 2.送り込み刺法・透熱灸、八分灸① 3.送り込み刺法・透熱灸、八分灸② 4.送り込み刺法・透熱灸、八分灸③ 5.送り込み刺法・透熱灸、八分灸④ 6.送り込み刺法・透熱灸、八分灸⑤ 7.旋撚刺法・透熱灸、八分灸① 8.旋撚刺法・透熱灸、八分灸② 9.旋撚刺法・透熱灸、八分灸③ 10.送り込み刺法、旋撚刺法・透熱灸、八分灸 11.基本十七手技① 12.基本十七手技② 13.基本十七手技③ 14.基本十七手技④ 15.基本十七手技⑤ 16.1学期振り返り 17.頸部、肩甲上部への刺鍼・透熱灸、八分灸 18.上肢、肩関節前面への刺鍼・透熱灸、八分灸 19.肩甲部への刺鍼・透熱灸、八分灸 20.上肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 21.肩甲間部への刺鍼・透熱灸、八分灸 22.腰・背部への刺鍼・透熱灸、八分灸 23.膝関節部への刺鍼・透熱灸、八分灸 24.上肢・手関節への刺鍼・透熱灸、八分灸 25.肩甲部への刺鍼・透熱灸、八分灸 26.腰部への刺鍼・透熱灸、八分灸 27.腰下肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 28.頭部・下肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 29.頭部・腹部への刺鍼・透熱灸、八分灸 30.臀部、下肢への刺鍼・透熱灸、八分灸 31.2学期振り返り 32.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸① 33.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸② 34.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸③ 35.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸④ 36.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑤ 37.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑥ 38.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑦ 39.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑧ 40.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑨ 41.低周波鍼通電療法(筋パルス系)・透熱灸、八分灸⑩ 42.低周波鍼通電療法(神経パルス系)・透熱灸、八分灸① 43.低周波鍼通電療法(神経パルス系)・透熱灸、八分灸② 44.低周波鍼通電療法(神経パルス系)・透熱灸、八分灸③ 45.低周波鍼通電療法(鎮痛パルス系)		
準備学習	経穴部位、解剖学(特に筋肉の分布)をマスターしておくこと。 5分間施灸の練習		
教科書・教材等	実習に応じたプリント 『ずっと使える！鍼灸臨床 BOOK』(医療教育部会 鍼灸分科会 教材研究委員会:滋慶出版)		
授業の形式 教育機器の活用	実技 鍼灸用具		
成績評価の方法	各学期、定期試験80%と中間試験20%の合計100%で算出する。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	基礎から応用への技術習得治なります。疾患に対する施術を行いますが、基本技術を忘れないで下さい。そのためにも自身の技術レベルを認識し、施術を日々繰り返し技術向上に努めて下さい。また被験者に対し、患者同様の施術・言葉遣いや気づかいがにできるようにも努めてください。技術レベルの向上は地道な練習の積み重ねになります。尚、進行状況などにより、授業の順序・内容が変更される場合があります。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅰ	担当教官名	山口修平・野間美千子
対象学生	第2学年	履修学期	3学期
必修・選択の別	必修	授業回数	23回
授業のキーワード	医療面接、各種検査法、腱反射、病態把握、施術		
授業の概要及び到達目標	【概要】 臨床実習の基礎となる医療面接・徒手検査法を実際に行い、症状の鑑別・診断に必要な知識と技能を習得する。 【到達目標】 ①症例を作成できる。 ②医療面接の基本的な流れを実践できる。 ③各種理学検査が習得できる。 ④症例および各種理学検査の結果から鑑別できるようになる。 【実務経験】 山口修平 2015年～2016年:株式会社玄武堂 2016年～:京都医健専門学校にて非常勤講師 2017年～2021年:康祐堂あけぼの鍼灸院 2021年～:宝塚医療大学にて非常勤講師 2021年～2023年:理化学研究所にて研究 2023年～:森ノ宮医療大学にて非常勤講師 野間美千子 2009年～2012年:京都市内の鍼灸整骨院 2014年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション 2. 医療面接について 3. 徒手検査法A・医療面接・腱反射(頸部神経根障害) 4. 徒手検査法B・医療面接(胸郭出口症候群) 5. 徒手検査法C・医療面接(肩関節痛) 6. 徒手検査法D・医療面接(肘関節痛) 7. 病態解説と実技練習(徒手検査A～D・腱反射) 8. 病態解説と実技練習(徒手検査A～D・腱反射) 9. 実技試験①(徒手検査A～D・腱反射) 10. 実技試験①(徒手検査A～D・腱反射) 11. 徒手検査法E・医療面接・腱反射(腰痛・腰下肢痛) 12. 徒手検査法F・医療面接(股関節痛)	13. 【課題】症例課題① 14. 【課題】症例課題② 15. 徒手検査法G・医療面接(膝関節痛) 16. 徒手検査法H・医療面接(アキレス腱断裂) 17. 病態解説と実技練習(徒手検査E～H) 18. 病態解説と実技練習(徒手検査E～H) 19. 試験形式実技練習(徒手検査A～H・医療面接) 20. 試験形式実技練習(徒手検査A～H・医療面接) 21. 実技試験②(徒手検査A～H・医療面接・腱反射) 22. 実技試験②(徒手検査A～H・医療面接・腱反射) 23. フィードバックおよびレポート作成	
準備学習	1年時に学習した医療面接の基本を復習しておくこと。		
教科書・教材等	『ずっと使える!鍼灸臨床 BOOK』(医療教育部会 鍼灸分科会 教材研究委員会:滋慶出版)		
授業の形式 教育機器の活用	実技		
成績評価の方法	実技試験100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	実習科目として、臨床において重要な「医療面接」「徒手検査法」「腱反射検査」の知識と技能を習得するための授業です。3年生の実習で、症例に対して適切な鑑別ができるよう、必要な技能の習得に努めましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	臨床医学各論Ⅱ	担当教官名	田島 大奨
対象学生	第3学年	履修学期	1学期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業の キーワード	内分泌疾患、代謝・栄養疾患、神経疾患、膠原病、その他の領域		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 国家試験過去問を中心として、各疾患の説明を行う。 【到達目標】 ①各疾患における重要なポイントを理解し、国試の問題を解ける。 ②各疾患の症状や検査所見を記憶するだけでなく、解剖学や生理学の知識より、病態生理を理解して全体像をつかむことができる。 【実務経験】 2014年～2015年:大阪市内の鍼灸整骨院 2015年～2022年:大阪府岸和田市の専門学校 2019年～2022年:大阪大学歯学部口腔解剖学第二教室の受託研究員 2022年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 第6章 内分泌疾患① 2. 第6章 内分泌疾患② 3. 第7章 代謝・栄養疾患① 4. 第11章 神経疾患① 5. 第11章 神経疾患② 6. 第11章 神経疾患③ 7. 第11章 神経疾患④ 8. 第11章 神経疾患⑤ 9. 第12章 神経疾患⑥ 10. 第12章 リウマチ性疾患・膠原病① 11. 第12章 リウマチ性疾患・膠原病② 12. 第13章 その他の領域① 13. 第13章 その他の領域② 14. 第13章 その他の領域③ 15. 第13章 その他の領域④		
準備学習	毎回の復習		
教科書・教材等	『臨床医学各論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験80% 課題点20%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	臨床医学各論は、正常な人体の機能や構造が破綻して生じる疾患を学ぶ科目である。各疾患の複雑な症状や検査項目・治療薬を学ぶためには、解剖学・生理学の基礎的な知識が必要不可欠となってくる。複雑な病態生理を丸覚えにしないために、解剖生理の知識から病態を学ぶ意識をしてください。授業内で行う小テストは課題点として算出されますので、小テストは国家試験に直結するため、授業での解説や小テストを大切に、反復するように取り組んでください。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	あはき診断の応用	担当教官名	船本 純一
対象学生	第3学年	履修学期	1学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15回
授業の キーワード	骨格筋の触察、筋の起始停止、作用、支配神経、理学検査、経絡経穴の走行		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 解剖学、経絡経穴学、理学検査を総合し症状、病態把握ができる。 【到達目標】 ①骨格筋を正確に触察できる。 ②筋上にある経穴の部位、経絡の走行が答えられる。 ③症状に適した理学検査が実施でき陽性所見が答えられる。 ④国家試験の過去問題・応用問題を解くことができる。 【実務経験】 2000年～2003年:(医)明昌会 松本診療所 理学診療科 2003年～2006年:(医)わたなべ整形外科 リハビリテーション科 2006年～2008年:(医)ラザロ会 別所クリニック リハビリテーション科 2008年～2012年:京都府京都市の鍼灸あん摩マッサージ指圧師養成校 2012年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション、骨のランドマーク 2. 理学検査関連(過去問) 3. 理学検査関連(過去問)、方法 4. 筋上の走行経絡(触察)、筋上の経穴(触察) 5. 頸部、上肢、下肢(過去問) 6. 頸部、上肢、下肢(過去問) 7. 頸部、上肢、下肢(過去問) 8. 筋上の走行経絡(過去問) 9. 筋上の走行経絡(過去問) 10. 筋上の走行経絡(過去問) 11. 筋上の経穴(過去問) 12. 筋上の経穴(過去問) 13. 筋上の経穴(過去問)、課題提出しめ 14. TPの形成要件(過去問)、理学検査関連(過去問) 15. 試験対策まとめ		
準備学習	1、2年次の解剖学、経絡経穴学、理学検査法の復習を再確認してください。		
教科書・教材等	・『新版 解剖学』(東洋療法学校協会編, 教科書検討小委員会著:医歯薬出版) ・『新版 経絡経穴概論』(日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会編, 教科書執筆小委員会著:医道の日本社) ・『ずっと使える臨床BOOK』(一般財団法人 滋慶教育科学研究所, 医療教育部会 鍼灸分科会:株式会社 滋慶出版)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	近年、国家試験に頻出の、筋と経穴位置関係、筋と経絡の走行、症状と理学検査の関係、理学検査の方法と陽性所見、について学び確実に得点に繋げていきましょう。関連する科目を複合して理解に努めて下さい。国家試験対策だけでなく、臨床の現場で大変重要なものになりますので疾患に応じた各種理学検査法が選択できるようになり、しっかり復習してください。各講義開始時に、確認問題を実施しますので前回分の復習をしておいてください。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	関係法規	担当教官名	舩本 純一
対象学生	第3学年	履修学期	2学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15回
授業の キーワード	日本国憲法、あはき法、医療法、薬機法、介護保険法、諸関係法規		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 はり師、きゅう師として業務に従事するうえで理解しておくべき法律を学ぶ。「あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」とその業務や医療従事者として必要な医事福祉関係法規について学ぶ。患者の権利と安全を確保する医療の担い手として法遵守、使命感と責任感を身に付ける。 【到達目標】 ①あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律について理解し説明できる。 ②医療・衛生関係法規について理解し説明できる。 ③社会福祉、社会保険関係法規について理解し説明できる。 【実務経験】 2000年～2003年:(医)明昌会 松本診療所 理学診療科 2003年～2006年:(医)わたなべ整形外科 リハビリテーション科 2006年～2008年:(医)ラザロ会 別所クリニック リハビリテーション科 2008年～2012年:京都府京都市の鍼灸あん摩マッサージ指圧師養成校 2012年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 序論、日本国憲法とは 2. あはき法制定の目的、免許と国家試験、業務範囲 3. 学校、養成施設、指定試験機関、審議会及び試験委員、罰則 4. 医事法規と医療制度、医療法 5. 医師法、その他の医療従事者 6. 薬事法規 7. 衛生関係法規 8. 社会福祉関係法規 9. 社会福祉関係法規 10. 社会保険関係法規 11.社会保険関係法規 12.社会保険関係法規 13.その他の関係法規、課題提出し 14.関係法規のまとめ 15.期末試験対策		
準備学習	復習に時間をかけ分からないことはそのままにせず質問してください。		
教科書・教材等	『関係法規【第7版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	法律は決して難しくありません。また、法律は人を罰するためのものではありません。知らなければ、社会から受ける不利益も存在します。医療人、社会人としても法律を理解していきましょう。各講義開始時に、確認問題を実施しますので前回分の復習をしておいてください。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	生体観察(体表解剖学)	担 当 教 官 名	菊井 由紀子
対象学生	第3学年	履修学期	1学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	15回
授業の キーワード	中枢神経系の理解とその観察		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 生体観察の授業を通じて臨床に生かせる人体の見方ができるようにする。神経系の概要を理解できるようにする。 【到達目標】 ①講義計画のプログラムに沿って中枢神経の知識を習得することができる。 ②見学実習を通じて学んだことを確認できるようにする ③毎回の講義で、体表観察の時間を取り入れ、鍼灸施術に生かせるようにする 【実務経験】 1996年:大阪医科大学麻酔科 1997年:堺山口病院 2000年～:神戸、京都の専門学校 2001年～:名古屋大学解剖トレーニングセミナー、杏林大学夏季解剖実習セミナー参加		
講義計画・内容	1. 中枢神経の観察 (1)中枢神経の全体像 (2)中枢神経の各論 ①脊髄 2. ②延髄と橋 ③中脳 ④小脳 3. 課題:第32回国家試験より 4. ⑤間脳 ⑥大脳 5. ⑦大脳基底核 6. ⑨脳室系 ⑩髄膜 ⑪脳脊髄液 7. ⑫脳の血管 8. ⑬伝導路のまとめ 9. 頭蓋の観察 内頭蓋底の観察と脳神経の概要① 10. 内頭蓋底の観察と脳神経の概要② 11. 内頭蓋底の観察と脳神経の概要③ 12. 自律神経系の復習① 13. 自律神経系の復習② 14. 試験対策① 15. 試験対策②		
準備学習	毎回の授業内容をまとめて、自分のノートづくりをする。疑問点を洗い出し、自分で調べたり、質問できる機会を生かして聞いたり、自分の意見を述べたりできるようにする。各種試験の問題・国試問題は教科書などで調べて期末試験までに自分のノートを作成する。		
教科書・教材等	『解剖学【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	解剖模型や資料を利用して講義を行う。また、各講義の最初には前回の講義の復習小テストを行う。		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	からだ全体の司令塔である中枢神経の理解をすることにより、その働きがどのように生命の維持に関わっているかに興味を持つ。座学で学んだ後に見学実習を通じて生体を観察する重要性を知る。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床経絡経穴	担当教官名	野間 美千子
対象学生	第3学年	履修学期	通年
必修・選択の別	必 修	授業回数	45回
授業の キーワード	正経十二経脈、取穴部位、要穴、筋、神経、徒手検査、整形外科疾患、治療穴		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 経絡経穴の基礎知識を確認し、それらを利用した臨床での治療法の理解を深める。 【到達目標】 今まで学習した知識を組み合わせ、疾患に対し鑑別、診断、そして鍼灸治療の配穴を実行し有効な施術を行う治療家となることができる。 【実務経験】 2009～2012年:京都市内の鍼灸整骨院 2014年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. オリエンテーション 2. 経絡経穴の基礎(流注、骨度法、要穴) 3. 経絡経穴の基礎(流注、骨度法、要穴) 4. 上肢の経穴(走行・部位・解剖・要穴)① 5. 上肢の経穴(走行・部位・解剖・要穴)② 6. 上肢の経穴(走行・部位・解剖・要穴)③ 7. 下肢の経穴(走行・部位・解剖・要穴)① 8. 下肢の経穴(走行・部位・解剖・要穴)② 9. 下肢の経穴(走行・部位・解剖・要穴)③ 10. 下肢の経穴(走行・部位・解剖・要穴)④ 11. 背部の経穴(横並び・解剖)① 12. 背部の経穴(横並び・解剖)② 13. 背部の経穴(横並び・解剖)③ 14. 1学期 総復習① 15. 1学期 総復習② 16. 胸腹部の経穴(横並び・解剖)① 17. 胸腹部の経穴(横並び・解剖)② 18. 整形外科的疾患への応用① 19. 整形外科的疾患への応用② 20. 整形外科的疾患への応用③ 21. 整形外科的疾患への応用④ 22. 整形外科的疾患への応用⑤ 23. 整形外科的疾患への応用⑥ 24. 整形外科的疾患への応用⑦ 25. 整形外科的疾患への応用⑧ 26. 整形外科的疾患への応用⑨ 27. 整形外科的疾患への応用⑩ 28. 整形外科的疾患への応用⑪ 29. 2学期 総復習① 30. 2学期 総復習② 31. 解剖部位と経穴① 32. 解剖部位と経穴② 33. 解剖部位と経穴③ 34. 解剖部位と経穴④ 35. 解剖部位と経穴⑤ 36. 解剖部位と経穴⑥ 37. 奇経八脈・奇穴など① 38. 奇経八脈・奇穴など② 39. 奇経八脈・奇穴など③ 40. 応用問題① 41. 応用問題② 42. 応用問題③ 43. 応用問題④ 44. 3学期 総復習① 45. 3学期 総復習②		
準備学習	経絡経穴の知識はもちろん、臨床医学や東洋医学の知識も重要です。今までの知識を総動員させ、疾患に対し最善の治療法を導き出せるよう、頑張っていきましょう。		
教科書・教材等	『新版 経絡経穴概論』(日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会編, 教科書執筆小委員会著:医道の日本社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	経絡経穴概論Ⅰの内容に加え、東洋医学臨床論の整形外科疾患分野の治療穴についても学習を進めます。1学期の間は主に四肢と体幹の経穴について、2学期後半以降は解剖学や整形外科疾患を絡めた内容にレベルアップします。早めに鍼灸あマ指の過去問題を解き進めましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	リハビリテーション医学	担 当 教 官 名	葛西 紘士
対 象 学 生	第3学年	履 修 学 期	1・2学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	30回
授業の キーワード	ICF、リハビリテーション分野、各種評価、医学的リハビリテーション、各疾患のリハビリテーション、歩行		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 リハビリテーション医療は多職種に支えられ、様々な専門領域にリハビリテーション医学が活用されている。患者の運動機能や日常生活活動の能力の障害を回復に導き、社会・環境への適応を促進するには本人・家族を含めた多くの人々の知恵と努力が必要となる。これらを習得することを目標とする。 【到達目標】 ①鍼灸臨床の幅を広げることができる。 ②主要な疾患のリハビリテーションについて理解し、説明ができる。 ③豊かな社会作りに役立つ体系を学び、社会に貢献することができる。 【実務経験】 2007年～2013年:京都医健専門学校 2013年～2020年:名古屋医健スポーツ専門学校 2020年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. リハビリテーション総説 2. リハビリテーションと障害 3. リハビリテーション医学と医療 4. リハビリテーション医学とチームアプローチ 5. 地域ケアと地域リハビリテーション 6. 心身機能・身体構造の評価 7. 活動の評価 8. 参加の評価 9. 合併症、運動麻痺の評価 10. 運動年齢テスト、高次脳機能評価 11. 医学的リハビリテーション① 12. 医学的リハビリテーション② 13. 脳卒中のリハビリテーション① 14. 脳卒中のリハビリテーション② 15. 総復習	16. 脊髄損傷のリハビリテーション① 17. 脊髄損傷のリハビリテーション② 18. 脊髄損傷のリハビリテーション③ 19. 切断のリハビリテーション① 20. 切断のリハビリテーション② 21. 小児のリハビリテーション 22. 骨関節疾患のリハビリテーション① 23. 骨関節疾患のリハビリテーション② 24. 関節リウマチのリハビリテーション 25. パーキンソン病のリハビリテーション 26. 呼吸器疾患のリハビリテーション 27. 心疾患のリハビリテーション 28. 正常歩行と異常歩行① 29. 正常歩行と異常歩行② 30. 総復習	
準備学習	リハビリテーションの基礎を学ぶ教科です。リハビリテーションを実際に行うことで、人体への影響を考えると、解剖学、生理学、臨床医学各論・総論との関わりが必要となります。よって、それらの科目の予習及び復習を必要とします。		
教科書・教材等	『リハビリテーション医学【第4版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器利用		
成績評価の方法	定期試験100%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	リハビリテーション医学は様々な専門領域に活用されている。我々鍼灸師も理念と知識と技術を学ぶことで患者状態の把握につながり、また回復状況を周知することができる。物理学知識も必要な面もあり、難しい部分もあるが、鍼灸臨床応用内でも利用できることは多々ある。患者状態把握に結び付けよりよい鍼灸治療に役立てられるよう頑張って欲しい。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	総合医学特論Ⅰ	担当教官名	葛西 紘士
対象学生	第3学年	履修学期	1・2学期
必修・選択の別	必 修	授業回数	45回
授業の キーワード	国家試験対策、鍼灸国家試験問題演習		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 鍼灸国家試験問題の演習により総合的な復習をし、国家試験合格に繋げる。 【到達目標】 ①鍼灸国家試験問題を総合的に理解し解くことができる。 ②各種問題より得手不得手科目を分析し、理解することができる。 【実務経験】 2007年～2013年：京都医健専門学校 2013年～2020年：名古屋医健スポーツ専門学校 2020年～：京都医健専門学校		
講義計画・内容	(問題演習・模試・試験)) 1. 専門基礎テスト 2. 国家試験対策特別講義① 3. 国家試験対策特別講義② 4. 国家試験対策特別講義③ 5. 国家試験対策特別講義④ 6. 国家試験問題演習① 7. 国家試験問題演習② 8. 第1回　模擬試験 9. 第1回　模擬試験 10. 国家試験問題演習③ 11. 国家試験問題演習④ 12. 国家試験問題演習⑤ 13. 国家試験問題演習⑥ 14. 国家試験問題演習⑦ 15. 国家試験問題演習⑧ 16. 国家試験問題演習⑨ 17. 国家試験問題演習⑩ 18. 国家試験問題演習⑪ 19. 国家試験問題演習⑫ 20. 国家試験問題演習⑬ 21. 国家試験問題演習⑭ 22. 国家試験問題演習⑮ 23. 国家試験問題演習⑯ 24. 国家試験問題演習⑰ 25. 国家試験問題演習⑱ 26. 国家試験問題演習⑲ 27. 国家試験問題演習⑳ 28. 国家試験問題演習㉑ 29. 国家試験問題演習㉒ 30. 国家試験問題演習㉓ 31. 国家試験問題演習㉔ 32. 国家試験問題演習㉕ 33. 国家試験問題演習㉖ 34. 国家試験問題演習㉗ 35. 国家試験問題演習㉘ 36. 国家試験問題演習㉙ 37. 国家試験問題演習㉚ 38. 国家試験問題演習㉛ 39. 国家試験問題演習㉜ 40. 国家試験問題演習㉝ 41. 国家試験問題演習㉞ 42. 国家試験問題演習㉟ 43. 国家試験問題演習㊱ 44. 国家試験問題演習㊲ 45. 国家試験問題演習㊳		
準備学習	1，2年次の復習を国家試験問題をもとに実施しておく。また、毎回の授業内容の結果から自己の得手不得手科目及び単元を把握し、自己ノートを作成し、各科目の知識をまとめに国家試験合格につなげる。		
教科書・教材等	1～3年次にて利用する全ての教科書・教材		
授業の形式 教育機器の活用	講義、視聴覚機器		
成績評価の方法	試験100%(うち模擬試験より20%含む)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	総合医学特論は今まで培ってきた勉強の総復習です。応用的な内容ではありますが、基礎用語の理解を把握した上で成り立っています。知識をもとに思考につながっていくよう、わからないものをわからないままにせず、日々の努力で知識を積み上げていきましょう。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	総合医学特論Ⅱ	担当教官名	葛西紘士、菊井由紀子、久原由美子
対象学生	第3学年	履修学期	2学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業のキーワード	国家試験対策、鍼灸国家試験問題演習、臨床医学各論、東洋医学概論、東洋医学臨床論		
授業の概要及び到達目標	【概要】 鍼灸国家試験問題の演習、及び解剖学・生理学の総合的な復習をし、国家試験合格に繋げる。 【到達目標】 ①鍼灸国家試験問題を総合的に理解し解くことができる。 ②解剖学・生理学の国家試験問題を理解し解くことができる。 【実務経験】 葛西紘士 2007年～2013年:京都医健専門学校 2013年～2020年:名古屋医健スポーツ専門学校 2020年～京都医健専門学校 菊井由紀子 1996年:大阪医科大学麻酔科 1997年:堺山口病院 2000年～:神戸、京都の専門学校 2001年～:名古屋大学解剖トレーニングセミナー、杏林大学夏季解剖実習セミナー参加 久原由美子 2003年～2004年:大阪医科大学麻酔科ペインクリニック 2005年:仏眼鍼灸理療専門学校 2006年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	(問題演習・模擬試験) 1. 国家試験問題演習(外部模試①) 2. 国家試験問題演習(外部模試②) 3. 国家試験問題演習(外部模試③) 4. 国家試験問題演習(外部模試④) (解剖学系) 5. 問題解説 6. 循環器の解剖(心臓・動脈) 7. 循環器の解剖(静脈) 8. 循環器の解剖(リンパ・胎児循環) 9. 課題 10. 消化器の解剖 11. 泌尿器の解剖 12. 生殖器の解剖(男性) 13. 生殖器の解剖(女性) 14. 発生学 15. 感覚器(視覚) 16. 課題 17. 感覚器(聴覚) 18. 総合演習 (生理学系) 19. 第1章　生理学の基礎 20. 第2章　循環(血液の組成) 21. 第2章　循環(心臓血管系) 22. 第3章　呼吸 23. 第4章　消化と吸収	24. 第5章　代謝 25. 第6章　体温 26. 第7章　排泄 27. 第8章　内分泌 28. 第9章　生殖・成長と老化 29. 第10章　神経 30. 第11章　筋 31. 第12章　運動 32. 第13章　感覚 (問題演習・模擬試験・特別講義) 33. 第2回滋慶模試① 34. 第2回滋慶模試② 35. 外部模試① 36. 外部模試② 37. 外部模試③ 38. 国家試験対策特別講義① 39. 国家試験対策特別講義② 40. 国家試験対策特別講義③ 41. 国家試験対策特別講義④ 42. 第3回 滋慶模試① 43. 第3回 滋慶模試② 44. 第3回 滋慶模試③ 45. 国家試験対策特別講義⑤	
準備学習	1, 2年次の復習を国家試験問題をもとにしておくこと。また、毎回の授業内容をまとめ、自分のノートを作成し、解剖学・生理学の現代医学の知識を確実なものとする。		
教科書・教材等	・『解剖学【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版) ・『生理学【第3版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)		
授業の形式教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	試験100%(うち模擬試験より20%含む)		
担当教官から(履修に当たっての留意点)	総合医学特論は応用的な考え方、知識が必要になりますが、焦らずに一つ一つ丁寧に仕上げていきましょう。		

2024年度　京都医健専門学校　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	総合医学特論Ⅲ	担　当　教　官　名	葛西紘士・若杉和矢・中島康敬・野間美千子・田島大奨
対象学生	第3学年	履修学期	3学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	45回
授業の キーワード	国家試験対策、鍼灸国家試験問題、東洋医学概論、東洋医学臨床論、病理学概論、経絡経穴概論、衛生・公衆衛生学、臨床医学各論		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 　鍼灸国家試験問題の演習、及び公衆衛生学、臨床医学各論、病理学、東洋医学概論、東洋医学臨床論の総合的な復習をし、国家試験合格に繋げる。 【到達目標】 　①鍼灸国家試験問題を総合的に理解し解くことができる。 　②公衆衛生学、臨床医学各論、病理学、東洋医学概論、東洋医学臨床論、経絡経穴概論の国家試験問題を理解し解くことができる。 【実務経験】 葛西紘士 　2007年～2013年:京都医健専門学校 　2013年～2020年:名古屋医健スポーツ専門学校 　2020年～:京都医健専門学校 中島　康敬 　2006年:大阪府茨木市の鍼灸整骨院 　2008年:新潟県新潟市の専門学校 　2013年～:京都医健専門学校 若杉和矢 　2013年～:京都医健専門学校 野間美千子 　2009～2012年:京都市内の鍼灸整骨院 　2014年～:京都医健専門学校 田島大奨 　2014年～2015年:大阪市内の鍼灸整骨院 　2015年～2022年:大阪府岸和田市の専門学校 　2019年～:大阪大学歯学部口腔解剖学第二教室の受託研究員 　2022年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	(国家試験問題演習) 1. 国家試験問題演習① 2. 国家試験問題演習② 3. 国家試験問題演習③ 4. 国家試験問題演習④ (東洋系) 5. 陰陽五行 6. 精・気・血・津液・神 7. 蔵象① 8. 蔵象② 9. 蔵象③ 10. 病因病機 11. 病理・病証① 12. 病理・病証② 13. 弁証論治・治法① 14. 弁証論治・治法② (東洋系(東洋臨床)・病理学) 15. 東洋医学臨床論　過去問題演習① 16. 病理学概論　過去問題演習① 17. 病理学概論　病因・循環障害 18. 病理学概論　退行性変性・進行性変性・炎症 19. 病理学概論　腫瘍・免疫異常・アレルギー 20. 病理学概論　アレルギー・先天性異常 21. 東洋医学臨床論　総合① 22. 東洋医学臨床論　総合② 23. 東洋医学臨床論　総合③ 24. 東洋医学臨床論　総合④ (経絡経穴概論) 25. 経絡経穴　総合① 26. 経絡経穴　総合② 27. 経絡経穴　総合③ (衛生・公衆衛生学) 28. 衛生学　健康 29. 衛生学　産業保健・精神保健 30. 衛生学 母子保健・成人高齢者保健 31. 衛生学 疫学・保健統計 32. 衛生学　感染症・消毒 33. 衛生学　総合① 34. 衛生学　総合② 35. 衛生学　総合③ (臨床医学各論) 36. 整形外科疾患① 37. 整形外科疾患② 38. 肝胆膵疾患① 39. 肝胆膵疾患② 40. 呼吸器疾患① 41. 呼吸器疾患② 42. 腎・泌尿器疾患① 43. 腎・泌尿器疾患② 44. 循環器疾患① 45. 循環器疾患②		
準備学習	1, 2年次の復習を国家試験問題をもとにしておくこと。また、毎回の授業内容をまとめ、自分のノートを作成し、公衆衛生学、臨床医学各論の知識をまとめて臨床につなげる。東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論の知識を確実なものとし、鍼灸師を取り巻く環境について知識を深める。		
教科書・教材等	・『臨床医学各論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社) ・『新版　東洋医学概論』(東洋療法学校協会編, 教科書検討小委員会著:医道の日本社) ・『新版　東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉』(東洋療法学校協会編, 教科書検討小委員会著:南江堂) ・『病理学概論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社) ・『衛生学・公衆衛生学【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社) ・『新版　経絡経穴概論』(日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会編, 教科書執筆小委員会著:医道の日本社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	試験100%(うち模擬試験より20%含む)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	総合医学特論は応用的な考え方、知識が必要になりますが、焦らずに一つ一つ丁寧に仕上げていきましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

<table>
<tr><td>学　　科</td><td>鍼灸科</td><td>授業科目区分(基専)</td><td>専門分野</td></tr>
<tr><td>授業科目名</td><td>総合医学特論Ⅳ</td><td>担当教官名</td><td>舩本純一・久原由美子・田島大奨・菊井由紀子</td></tr>
<tr><td>対象学生</td><td>第3学年</td><td>履修学期</td><td>3学期</td></tr>
<tr><td>必修・選択の別</td><td>必　修</td><td>授業回数</td><td>30回</td></tr>
<tr><td>授業の
キーワード</td><td colspan="3">国家試験対策、鍼灸国家試験問題、はりきゅう理論、関係法規、医療概論、臨床医学総論、臨床医学各論</td></tr>
<tr><td>授業の概要
及び到達目標</td><td colspan="3">【概要】
鍼灸国家試験問題の演習、及びはりきゅう理論、関係法規、医療概論、臨床医学総論、臨床医学各論の総合的な復習をし、国家試験合格に繋げる。
【到達目標】
①鍼灸国家試験問題を総合的に理解し解くことができる。
②はりきゅう理論、関係法規、医療概論、臨床医学系の国家試験問題を理解し解くことができる。
【実務経験】
舩本純一
2000年～2003年:(医)明昌会　松本診療所　理学診療科
2003年～2006年:(医)わたなべ整形外科　リハビリテーション科
2006年～2008年:(医)ラザロ会　別所クリニック　リハビリテーション科
2008年～2012年:京都府京都市の鍼灸あん摩マッサージ指圧師養成校
2012年～:京都医健専門学校
久原由美子
2003年～2004年:大阪医科大学麻酔科ペインクリニック
2005年:仏眼鍼灸理療専門学校
2006年～:京都医健専門学校
田島大奨
2014年～2015年:大阪市内の鍼灸整骨院
2015年～2022年:大阪府岸和田市の専門学校
2019年～:大阪大学歯学部口腔解剖学第二教室の受託研究員
2022年～:京都医健専門学校
菊井由紀子
1996年:大阪医科大学麻酔科
1997年:堺山口病院
2000年～:神戸、京都の専門学校
2001年～:名古屋大学解剖トレーニングセミナー、杏林大学夏季解剖実習セミナー参加</td></tr>
<tr><td>講義計画・内容</td><td colspan="3">(問題演習・模擬試験)
1. 国試問題演習(外部模試①)
2. 国試問題演習(外部模試②)
3. 国試問題演習(外部模試③)
4. 国試問題演習(外部模試④)
(はりきゅう理論)
5. 国試問題演習(はりきゅう理論)①
6. 国試問題演習(はりきゅう理論)②
7. 国試問題演習(はりきゅう理論)③
8. 国試問題演習(はりきゅう理論)④
9. 国試問題演習(はりきゅう理論)⑤
10. 国試問題演習(はりきゅう理論)⑥
(関係法規、医療概論)
11. 国試問題演習(医療概論はき23～32回)①
12. 国試問題演習(医療概論はき23～32回)②
13. 国試問題演習(医療概論はき23～32回)③
14. 国試問題演習(関係法規はき23～32回)①
15. 国試問題演習(関係法規はき23～32回)②
16. 国試問題演習(関係法規はき23～32回)③
(臨床医学総論)
17. 生命兆候
18. 全身の診察
19. 局所の診察
20. 神経系の診察
21. 運動機能検査
22. おもな症状の診察法
(臨床医学各論)
23. 国試問題演習①
24. 国試問題演習②
25. 国試問題演習③
26. 国試問題演習④
27. 国試問題演習⑤
28. 国試問題演習⑥
29. 国試問題演習⑦
30. 国試問題演習⑧</td></tr>
<tr><td>準備学習</td><td colspan="3">1, 2年次の復習を国家試験問題をもとにしておくこと。また、毎回の授業内容をまとめ、自分のノートを作成し、医療概論・関係法規・はりきゅう理論・臨床医学系の現代医学の知識を確実なものとする。</td></tr>
<tr><td>教科書・教材等</td><td colspan="3">・『はりきゅう理論【第3版】』(東洋療法学校協会編, 教科書執筆委員会著:医道の日本社)
・『医療概論』(東洋療法学校協会編,中川米造監修:医歯薬出版株式会社)
・『関係法規【第7版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)
・『臨床医学総論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)
・『臨床医学各論【第2版】』(東洋療法学校協会編:医歯薬出版株式会社)</td></tr>
<tr><td>授業の形式
教育機器の活用</td><td colspan="3">講義</td></tr>
<tr><td>成績評価の方法</td><td colspan="3">試験100%(うち模擬試験より20%含む)</td></tr>
<tr><td>担当教官から
(履修に当たっての留意点)</td><td colspan="3">総合医学特論は応用的な考え方、知識が必要になりますが、焦らずに一つ一つ丁寧に仕上げていきましょう。</td></tr>
</table>

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	総合医学特論Ⅴ	担当教官名	葛西紘士
対象学生	第3学年	履修学期	3学期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業の キーワード	国家試験対策、鍼灸国家試験問題、		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 鍼灸国家試験問題の演習により総合的な復習をし、国家試験合格に繋げる。 【到達目標】 ①鍼灸国家試験問題を総合的に理解し解くことができる。 ②各種問題より得手不得手科目を分析し、理解することができる。 【実務経験】 2007年～2013年:京都医健専門学校 2013年～2020年:名古屋医健スポーツ専門学校 2020年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	(国家試験問題演習・模擬試験・特別講義) 1. 国家試験問題演習① 2. 国家試験問題演習② 3. 国家試験問題演習③ 4. 国家試験問題演習④ 5. 国家試験問題演習⑤ 6. 国家試験問題演習⑥ 7. 国家試験問題演習⑦ 8. 国家試験問題演習⑧ 9. 特別授業① 10. 特別授業② 11. 特別授業③ 12. 特別授業④ 13. 国家試験問題演習(外部模試①) 14. 国家試験問題演習(外部模試②) 15. 国家試験問題演習(外部模試③) 16. 国家試験問題演習(外部模試④) 17. 国家試験問題演習(外部模試⑤ 18. 国家試験問題演習(外部模試⑥) 19. 国家試験問題演習(外部模試⑦) 20. 国家試験問題演習(外部模試⑧) 21. 国家試験問題演習(外部模試⑨) 21. 第4回 滋慶模試① 21. 第4回 滋慶模試② 24. 第4回 滋慶模試③ 24. 第5回 滋慶模試① 26. 第5回 滋慶模試② 27. 第5回 滋慶模試③ 28. 第5回 滋慶模試④ 29. その他 30. その他		
準備学習	1, 2年次の復習を国家試験問題をもとにしておくこと。また、毎回の授業内容をまとめ、自分のノートを作成し、知識を確実なものとする。		
教科書・教材等	1～3年次にて利用する全ての教科書・教材		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	試験100%(うち模擬試験より20%含む)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	総合医学特論は応用的な考え方、知識が必要になりますが、焦らずに一つ一つ丁寧に仕上げていきましょう。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	はりきゅう実技Ⅴ	担当教官名	中島康敦・若杉和矢・田島大奨
対象学生	第3学年	履修学期	1学期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業の キーワード	医療面接、各種検査、鍼灸施術、シミュレーション		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 医療従事者としての心構え、対人コミュニケーション、鍼灸施術を向上させ、全体的な施術をスムーズにできるようにする。 【到達目標】 ①鍼灸師としての技術だけでなく、人格や心構えを身につけることができる。 ②疾患に対する知識を元に正しく病態把握を行い鍼灸施術法を組み立て実践することができる。 【実務経験】 中島 康敦 2006～2008年:大阪府茨木市の鍼灸整骨院 2008～2013年:新潟県新潟市の専門学校 2013年～:京都医健専門学校 若杉和矢 2013年～:京都医健専門学校 田島大奨 2014年7月～2015年3月:大阪市内の鍼灸整骨院 2015年4月～2022年3月:大阪府岸和田市の専門学校 2019年～:大阪大学歯学部口腔解剖学第二教室の受託研究員		
講義計画・内容	1.オリエンテーション・2年次の復習 2.オリエンテーション・2年次の復習 3医療面接・徒手検査(ROM) 4.鍼灸施術① 5. 医療面接・徒手検査(ROM・頸部) 6.鍼灸施術② 7. 医療面接・徒手検査(胸郭出口症候群) 8.鍼灸施術③ 9.医療面接・徒手検査(肩) 10.鍼灸施術④ 11. 医療面接・徒手検査(腰部) 12.鍼灸施術⑤ 13. 医療面接・徒手検査(股関節) 14.鍼灸施術⑥ 15. 医療面接・徒手検査(膝・足部)	16.鍼灸施術⑦ 17. 医療面接・徒手検査(肘・神経学的所見) 18.鍼灸施術⑧ 19. 医療面接・徒手検査(復習①) 20.鍼灸施術⑨ 21. 医療面接・徒手検査(復習②) 22.鍼灸施術⑩ 23.シミュレーション① 24.シミュレーション② 25.シミュレーション③ 26.シミュレーション④ 27.シミュレーション⑤ 28.シミュレーション⑥ 29.シミュレーション⑦ 30.シミュレーション⑧	
準備学習	疾患に対する症状などは、生理学、臨床医学総論、各論で復習しておくこと。		
教科書・教材等	『ずっと使える！鍼灸臨床 BOOK』(滋慶出版)		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	実技試験100% ※7月6・7日に実技試験を行います。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	1・2年時の技術の復習も必要ですが、知識も必要な科目です。1・2年の基礎科目、応用科目の復習も行い、臨床で使える徒手検査を用いて根拠に基づく鑑別ができるように習得に努めてください。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅱ	担当教官名	舩本純一・田島大奨
対象学生	第3学年	履修学期	1・2学期
必修・選択の別	必　修	授業回数	23回
授業の キーワード	刺鍼、施灸		
授業の概要 及び到達目標	【概要】 臨床実習を行う。 【到達目標】 ①症状に合わせた適切な刺鍼ができるようになる。 ②症状に合わせた適切な施灸ができるようになる。 【実務経験】 舩本純一 2000年～2003年:(医)明昌会 松本診療所 理学診療科 2003年～2006年:(医)わたなべ整形外科 リハビリテーション科 2006年～2008年:(医)ラザロ会 別所クリニック リハビリテーション科 2008年～2012年:京都府京都市の鍼灸あん摩マッサージ指圧師養成校 2012年～:京都医健専門学校 田島大奨 2014年～2015年:大阪市内の鍼灸整骨院 2015年～2022年:大阪府岸和田市の専門学校 2019年～:大阪大学歯学部口腔解剖学第二教室の受託研究員 2022年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 症例作成・検討① 2. 症例作成・検討② 3. はりきゅう実技 ① 4. はりきゅう実技 ② 5. はりきゅう実技 頸部① 6. はりきゅう実技 頸部② 7. 症例作成・検討③ 8. 症例作成・検討④ 9. 症例作成・検討⑤ 10. 症例作成・検討⑥ 11. はりきゅう実技 肩部① 12. はりきゅう実技 肩部②	13. はりきゅう実技 腰部① 14. はりきゅう実技 腰部② 15. 症例作成・検討⑦ 16. 症例作成・検討⑧ 17. はりきゅう実技 下腿① 18. はりきゅう実技 下腿② 19. はりきゅう実技 総合① 20. はりきゅう実技 総合② 20. はりきゅう実技 総合③ 21. はりきゅう実技 総合④ 22. 症例作成・検討⑨ 23. 症例作成・検討⑩	
準備学習	1.2年生までに学習した内容を復習し、適切な病態把握ができるように準備をしておくこと。		
教科書・教材等	ずっと使える！鍼灸臨床 BOOK 医療教育部会 鍼灸分科会 教材研究委員会 監修:滋慶出版		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	出席および各種提出物状況で評価。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	実習科目ですので、1・2年時の技術の復習も必要ですが、知識も必要な科目です。1・2年の基礎科目、応用科目の復習も行い、臨床で使える技能(根拠を持った鑑別、施術ができるように)の習得に努めてください。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学　科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅲ	担当教官名	船本純一・清藤直人・田島大奨
対象学生	第3学年	履修学期	1・2学期
必修・選択の別	必修	授業回数	23回
授業のキーワード	医療面接、各種検査法		
授業の概要及び到達目標	【概要】 臨床実習を行う。 【到達目標】 ①適切な医療面接ができるようになる。 ②疾患に応じた各種理学検査法が選択できるようになる。 【実務経験】 船本純一 2000年～2003年:(医)明昌会 松本診療所 理学診療科 2003年～2006年:(医)わたなべ整形外科 リハビリテーション科 2006年～2008年:(医)ラザロ会 別所クリニック リハビリテーション科 2008年～2012年:京都府京都市の鍼灸あん摩マッサージ指圧師養成校 2012年～:京都医健専門学校 清藤直人 2002年:清藤鍼灸院院長、大阪医科大学麻酔科 2006年～:関西の専門学校にて非常勤講師 田島大奨 2014年～2015年:大阪市内の鍼灸整骨院 2015年～2022年:大阪府岸和田市の専門学校 2019年～:大阪大学歯学部口腔解剖学第二教室の受託研究員 2022年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 総合診療① 医療面接～病態把握 2. 総合診療② 医療面接～病態把握 3. 総合診療③ 医療面接～病態把握 4. 総合診療④ 医療面接～病態把握 5. 総合診療⑤ 医療面接～病態把握 6. 総合診療⑥ 医療面接～病態把握 7. 総合診療⑦ 医療面接～病態把握 8. 総合診療⑧ 医療面接～病態把握 9. 総合診療⑨ 医療面接～病態把握 10. 総合診療⑩ 医療面接～病態把握 11. 総合診療⑪ 医療面接～病態把握 12. 総合診療⑫ 医療面接～病態把握	13. 総合診療⑬ 医療面接～病態把握 14. 総合診療⑭ 医療面接～病態把握 15. 総合診療⑮ 医療面接～病態把握 16. 総合診療⑯ 医療面接～病態把握 17. 総合診療⑰ 医療面接～病態把握 18. 総合診療⑱ 医療面接～病態把握 19. 総合診療⑲ 医療面接～病態把握 20. 総合診療⑳ 医療面接～病態把握 21. 症例作成・検討① 22. 症例作成・検討② 23. 総合診療 医療面接～病態把握㉑	
準備学習	1.2年生までに学習した内容を復習し、適切な病態把握ができるように準備をしておくこと。		
教科書・教材等	ずっと使える！鍼灸臨床 BOOK 医療教育部会 鍼灸分科会 教材研究委員会 監修:滋慶出版		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	出席および各種提出物状況で評価。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	患者様に来院頂き、医療面接、各種検査法、病態把握をして頂きます。実際に患者様と接することが出来る貴重な機会ですので、検査法など必要な知識の準備をしておいてください。		

2024年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学科	鍼灸科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	臨床実習Ⅳ	担当教官名	舩本純一・清藤直人・田島大奨
対象学生	第3学年	履修学期	2学期
必修・選択の別	必修	授業回数	23回
授業のキーワード	医療面接、各種検査法、病態把握、施術		
授業の概要及び到達目標	【概要】 臨床実習を行う。 【到達目標】 ①適切な医療面接ができるようになる。 ②疾患に応じた各種理学検査法が選択できるようになる。 ③病態把握ができるようになる。 ④病態把握に基づいた鍼灸施術ができるようになる。 【実務経験】 舩本純一 2000年～2003年:(医)明昌会 松本診療所 理学診療科 2003年～2006年:(医)わたなべ整形外科 リハビリテーション科 2006年～2008年:(医)ラザロ会 別所クリニック リハビリテーション科 2008年～2012年:京都府京都市の鍼灸あん摩マッサージ指圧師養成校 2012年～:京都医健専門学校 清藤直人 2002年:清藤鍼灸院院長、大阪医科大学麻酔科 2006年～:関西の専門学校にて非常勤講師 田島大奨 2014年～2015年:大阪市内の鍼灸整骨院 2015年～2022年:大阪府岸和田市の専門学校 2019年～:大阪大学歯学部口腔解剖学第二教室の受託研究員 2022年～:京都医健専門学校		
講義計画・内容	1. 総合診療① 医療面接～病態把握 2. 総合診療② 医療面接～病態把握 3. 総合診療③ 医療面接～病態把握 4. 総合診療④ 医療面接～病態把握 5. 総合診療⑤ 医療面接～病態把握 6. 総合診療⑥ 医療面接～病態把握 7. 総合診療⑦ 医療面接～病態把握 8. 総合診療⑧ 医療面接～病態把握 9. 総合診療⑨ 医療面接～病態把握 10. 総合診療⑩ 医療面接～病態把握 11. 総合診療⑪ 医療面接～病態把握 12. 総合診療⑫ 医療面接～病態把握	13. 総合診療⑬ 医療面接～病態把握 14. 総合診療⑭ 医療面接～病態把握 15. 総合診療⑮ 医療面接～病態把握 16. 総合診療⑯ 医療面接～病態把握 17. 総合診療⑰ 医療面接～病態把握 18. 総合診療⑱ 医療面接～病態把握 19. 総合診療⑲ 医療面接～病態把握 20. 総合診療⑳ 医療面接～病態把握 21. 症例作成・検討① 22. 症例作成・検討② 23. 症例報告・検討	
準備学習	臨床実習Ⅱ、Ⅲの内容を復習しておくこと。		
教科書・教材等	ずっと使える!鍼灸臨床 BOOK 医療教育部会 鍼灸分科会 教材研究委員会 監修:滋慶出版		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	出席および各種提出物状況で評価。		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	患者様に来院頂き、医療面接、各種検査法、病態把握をして頂きます。実際に患者様と接することが出来る貴重な機会ですので、検査法など必要な知識の準備をしておいてください。		